南部保健所年報

（令和７年度事業概要）

埼玉県南部保健所

目　　次

第１部　南部保健所の概要

１　南部保健所管内の人口　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２　南部保健所の組織　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

３　南部保健所の沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

第２部　担当別事業概要

Ⅰ 広域調整担当

１　広域的な健康危機管理機能　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２　保健所業務の専門性強化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

３　調整機能　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

Ⅱ 総務・地域保健推進担当

１　衛生関係免許事務　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２　地域保健医療計画の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

３　統計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

４　医務　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４

５　医師臨床研修・地域保健実習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

６　学生実習　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

Ⅲ 保健予防推進担当

１　感染症予防　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２　母子保健　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
３　難病　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
４　肝炎治療医療費助成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
５　原爆被爆者援護　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
６　石綿（アスベスト）健康被害救済給付制度　・・・・・・・・・・・・２５
７　健康づくり・栄養　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
８　歯科保健　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９
９　精神保健福祉　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
10　現任教育　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４

Ⅳ 生活衛生・薬事担当

１　食品衛生　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２　動物指導　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３　環境衛生　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
４　薬事衛生　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８

Ⅴ 食品監視担当

１　食品監視担当業務概況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２　収去検査の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
３　違反食品等発見処理状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

第３部　　南部保健所管内の人口動態統計

人口動態統計の説明　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
第１表　令和５年人口動態総覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2

新生児の出生と死亡（第２表～第５表）
第２表　出生数及び出生率(人口千対)の年次推移　・・・・・・・・・・　3
第３表　死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移　・・・・・・・・・・　3
第４表　乳児死亡数及び乳児死亡率(出生千対)の年次推移　・・・・・　3
第５表　死産数及び死産率(出産千対)の年次推移　・・・・・・・・・・　3

婚姻と離婚（第６表、第７表）
第６表　婚姻数及び婚姻率(人口千対)の年次推移　・・・・・・・・・・　4
第７表　離婚数及び離婚率(人口千対)の年次推移　・・・・・・・・・・　4

第８表　令和５年死因順位別死亡数、死亡率　・・・・・・・・・・・・　5
第９表　合計特殊出生率の年次推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
第10表　管内人口の年次推移　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7

第４部　関係団体等一覧

１　埼玉県南部地域医療構想調整会議委員名簿　・・・・・・・・・・　1
２　埼玉県南部地域保健医療協議会委員名簿　・・・・・・・・・・・・　2
３　埼玉県南部地域保健医療協議会　在宅医療部会委員名簿　・・・・・　3
４　埼玉県蕨・戸田地区救急医療対策協議会委員名簿　・・・・・・・・　4
５　埼玉県南部保健所感染症診査協議会委員名簿　・・・・・・・・・・　5
６　南部保健医療圏地域災害保健医療調整会議委員名簿　・・・・・・・　6
７　南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制検討委員会名簿　・・・・・　7
８　南部保健医療圏難病対策地域協議会委員名簿　・・・・・・・・・・　8
９　管内関係団体　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9

第１部　南部保健所の概要

埼玉県南部保健所は、県中央南部の蕨市・戸田市の２市を所管地域としています。

この地域は、荒川を挟んで東京都に隣接しています。都心から２０ｋｍ圏にあり、ＪＲ京浜東北線と埼京線、国道１７号線が縦貫するなどの利便性の高さから、東京のベッドタウンとして開発が進んでいます。



１　南部保健所管内の人口

令和７年度、南部保健所管内の面積は２３．３ｋ㎡で、人口は約２１万４千人でした。

管内２市の特徴としては、蕨市が面積の小ささと人口密度の高さで全国一の市であり、戸田市は若年層を中心とした若い市であるといった点が挙げられます。

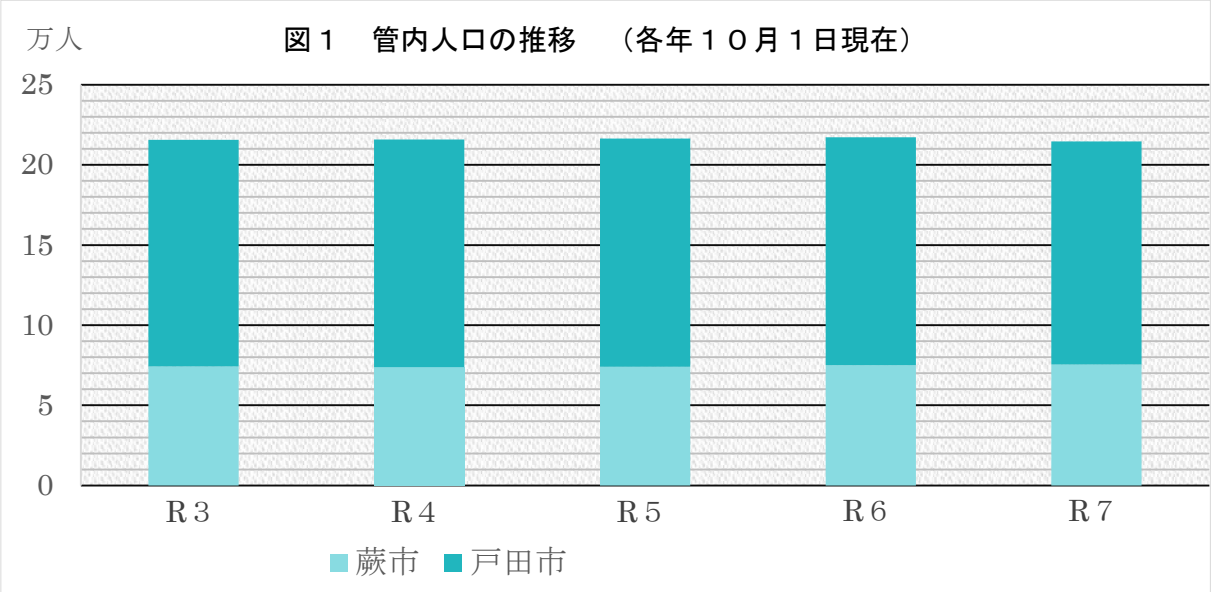
表１　世帯数・人口・面積・人口密度　　令和７年１０月１日現在

	世帯数（世帯）	人口（人）			面積（ｋ㎡）	人口密度
		総数	男	女		人口/ｋ㎡
埼玉県	3，285，878	7，287，169	3，607，158	3，680，011	3，797．75	1，918．8
管内	105，712	214，674	107，159	107，515	23．30	9，213．5
蕨市	38，922	75，510	38，193	37，317	5．11	14，776．9
戸田市	66，790	139，164	68，966	70，198	18．19	7，650．6

資料：令和７年度全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）／埼玉県の推計人口（埼玉県総務部統計課）

（１）人口の推移

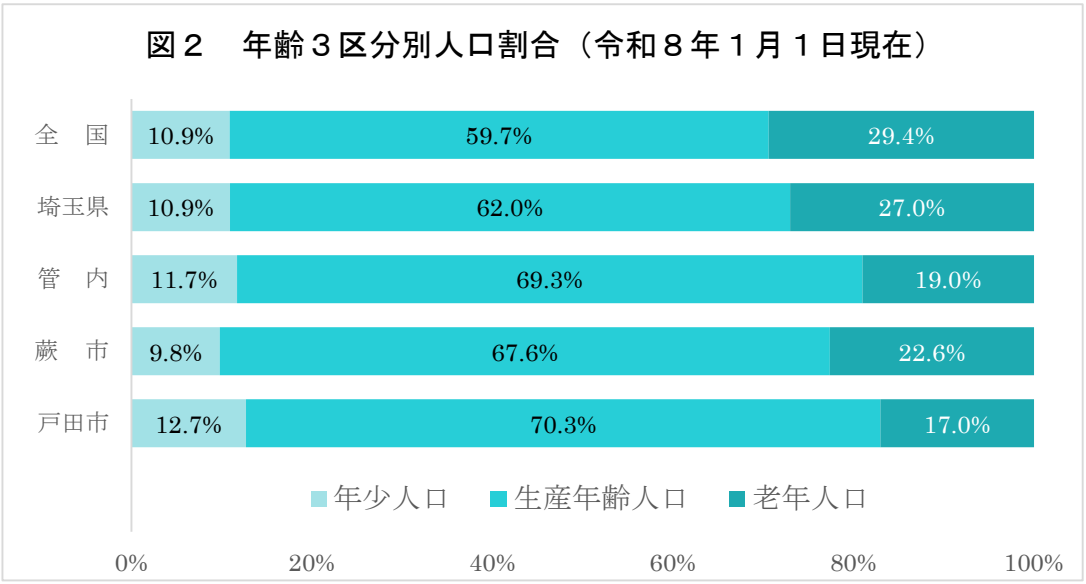
最近５年間の管内人口は、ほぼ横ばいで推移しています。



資料：国勢調査年（令和７年）は「国勢調査」（総務省統計局）、それ以外の年は「埼玉県推計人口」（埼玉県統計課）

（２）年齢３区分別人口割合

管内の令和８年１月１日現在の年齢３区分別人口割合では、年少人口（１５歳未満の人口）が１１．７%、生産年齢人口（１５歳以上６５歳未満の人口）が６９．３%、老年人口（６５歳以上の人口）が１９．０%でした。全国・埼玉県全体と比較して、管内は年少及び生産年齢人口の割合が高く、老年人口の割合が低くなっています。

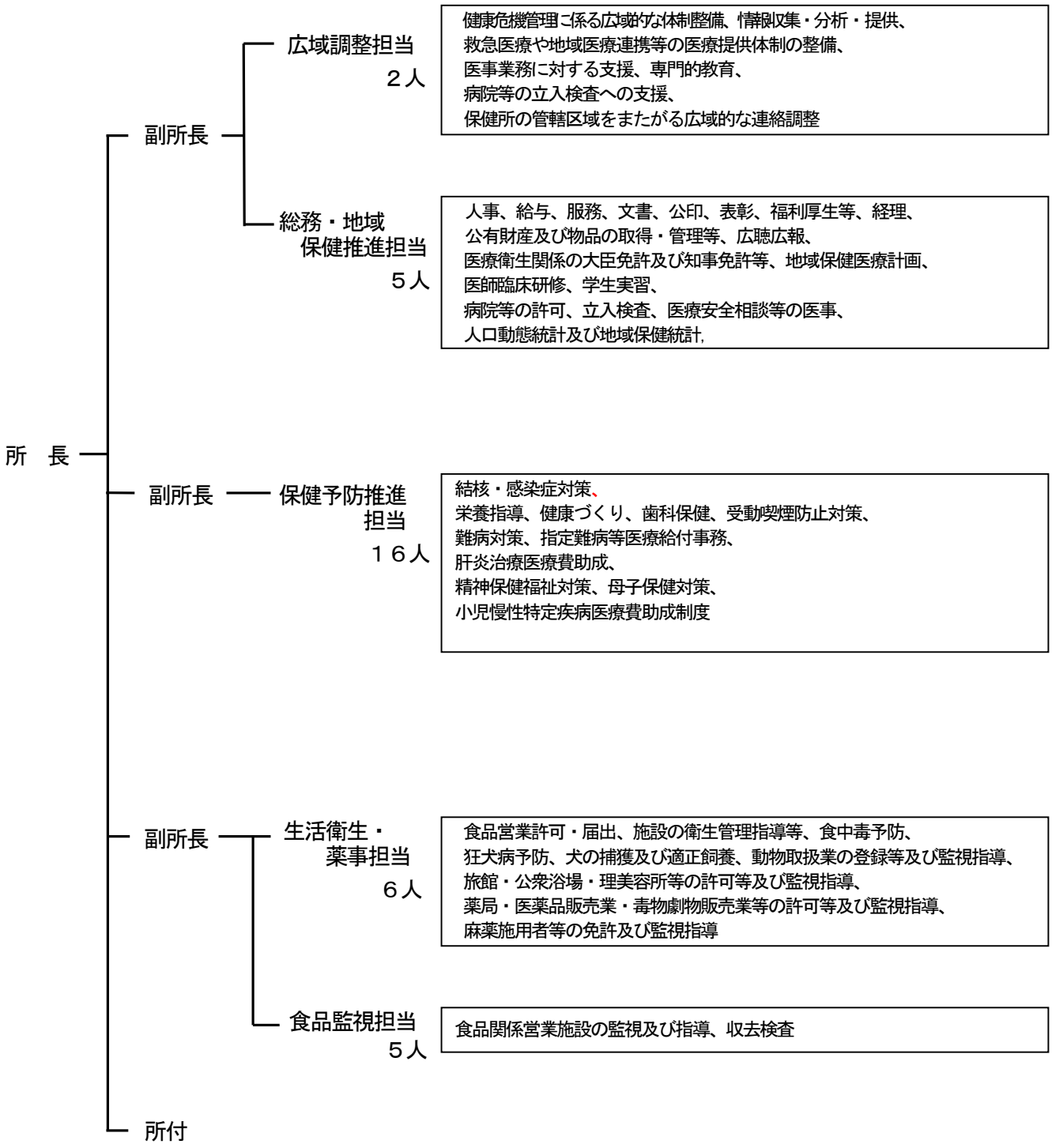


資料　全国：「推計人口（確定値）」（総務省統計局）／埼玉県以下：「埼玉県町（丁）字別人口調査結果報告」（埼玉県統計課）

２　南部保健所の組織（令和７年度）

（１）　事務分掌（令和７年４月１日現在）

職員数　３９人　　※育休中の職員及び嘱託（会計年度任用職員）を含み、育休代替職員を除く。



（２） 職種別内訳

		合計	所長	副所長	広域調整担当	総務・地域保健推進担当	保健予防推進担当	生活衛生・薬事担当	食品監視担当	所付
職種別内訳	合計	３９	１	３	２	５	１６	６	５	１
	医師	２	１	—	—	—	１	—	—	—
	薬剤師	６	—	１	—	—	—	３	２	—
	獣医師	６	—	—	—	—	—	２	３	１
	管理栄養士	１	—	—	—	—	１	—	—	—
	保健師	９	—	１	１	—	７	—	—	—
	精神保健福祉相談員	３	—	—	—	—	３	—	—	—
	動物愛護職	１	—	—	—	—	—	１	—	—
	一般事務	１１	—	１	１	５	４	—	—	—

３　南部保健所の沿革

南部保健所は、県内２番目の保健所・川口保健所として、昭和１４年１１月１０日に職員９人で発足しました。爾来８０余年、幾度かの組織の変遷を経ながら、住民に身近な地域保健の拠点として活動しています。

年　　月	概　　要
昭和１４年１１月	川口市上青木町１の２５９７番地（現在の上青木西２−１４−１７）に開設。 所管区域は、川口市、鳩ヶ谷町、草加町、新郷村、神根村、芝村、安行村、谷塚村、大門村、野田村、八条村、川柳村、新田村（町村名は当時のもの）。
昭和２５年１２月	庶務課、衛生課、予防課の３課体制となる。
昭和２８年　５月	草加町に出張所を設置し、主として対人保健サービスを実施。
昭和３４年　３月	草加町出張所を廃止。
昭和３８年　６月	旧庁舎（上青木西）完成。
昭和４０年　５月	計画課、保健婦室を新設し、４課１室となる。
昭和４２年　５月 （昭和４５年　５月）	草加保健所開設により、所管区域が川口市と鳩ヶ谷市の２市となる。 （５月１日　戸田・蕨保健所開設。蕨市と戸田市を所管区域として、中央保健所から分離して発足）。
昭和４８年　７月	衛生課を廃止し、食品衛生課及び環境公害課を新設。（５課１室）
昭和５１年　９月	環境公害課が環境薬事課に、保健婦室が保健婦課となる。（６課）
昭和５５年　４月	食品衛生課と環境薬事課を統合し、衛生課とする。（５課）
平成　３年　４月	計画課を廃止し、地域保健企画担当を新設。（４課１担当）
平成　７年１１月	川口市前川１−１１−１に現在の庁舎が完成し移転。
平成　９年　４月	課制を廃止し、担当制に移行（庶務担当、地域保健推進担当、保健予防推進担当、生活衛生・薬事担当の４担当）。
平成１８年　４月	戸田・蕨保健所と統合。所管区域が川口市、鳩ヶ谷市、蕨市、戸田市の４市となる。 旧戸田・蕨保健所に川口保健所 戸田・蕨分室を設置。 川口保健所（本所）は４担当制、戸田・蕨分室は保健予防推進担当と食品監視担当の２担当制となる。 ※ 食品監視担当は、川口保健所と朝霞保健所の所管区域を担当。
平成１９年　４月	庶務担当が総務担当となる。
平成２２年　４月	県内４ヶ所の拠点保健所と位置付けられる（他は春日部、狭山、熊谷）。 戸田・蕨分室を廃止。広域調整担当を新設。総務担当と地域保健推進担当を統合し、総務・地域保健推進担当とする。 ※ 広域調整担当は、川口保健所と朝霞保健所の所管区域を担当。
平成２３年１１月	川口市と鳩ヶ谷市が合併。所管区域が川口市、蕨市、戸田市の３市となる。
平成３０年　４月	川口市が中核市に移行し、当庁舎内に川口市保健所を開設したことに伴い、『南部保健所』に名称を変更。所管区域が蕨市、戸田市の２市となる。

第２部　担当別事業概要

Ⅰ　広域調整担当

本県の保健・医療を取り巻く環境は、県民ニーズが多様化する中で、少子高齢化の急速な進展、生活習慣病の増加など大きく変化しています。特に昨今は、医療従事者不足等による地域医療体制の脆弱化、新興感染症等の大規模な健康危機管理事案の発生、食に関する問題の複雑化など、地域保健上の課題の専門・高度化、広域化が進んでいます。このような中で、保健所のさらなる専門性の向上を図るとともに、管轄区域を越えた保健所相互の連携強化が必要となっています。

このため平成２２年度に、川口、春日部、狭山及び熊谷の４保健所が拠点保健所として位置づけられ、広域調整担当が設置されました。平成３０年４月に中核市となった川口市に保健所が開設されましたが、南部保健所広域調整担当の担当区域は、管内の蕨市、戸田市、川口市保健所管内の川口市及び朝霞保健所管内６市１町（朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町）です。各拠点保健所の広域調整担当は連携して、広域的な健康危機管理体制の構築、医事における立入検査及び指導業務に対する専門的かつ技術的な支援、各保健所の管轄区域をまたがる広域的な連絡調整などを担っています。

１　広域的な健康危機管理機能

（１）埼玉県南部保健医療圏地域災害保健医療調整会議の開催

日　　時	令和８年３月９日（月）　午後１時３０分から午後３時３０分
場　　所	川口市役所鳩ヶ谷庁舎
参 加 者	南部地域保健医療地域災害保健医療調整会議委員※：２８名 ※地域災害医療コーディネーター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、消防、警察、市危機管理部門、市保健衛生部門などにより構成
内　　容	（１）地域災害保健医療対策会議の実際について 講師：埼玉県災害医療コーディネーター （２）　各機関におけるフェーズごとの役割について （３）　大規模災害発生時の委員への連絡方法について （４）　事業報告 ＊その他、令和８年３月６日（金）に当所の主催でD24Hの操作に関する研修を実施した。

（２）健康危機管理訓練・研修の実施

日　　時	令和７年１１月２５日（火）　午後１時から午後２時３０分
場　　所	オンライン（Microsoft Teams）
参 加 者	１４０名 南部・南西部保健医療圏に属する医療機関職員等
内　　容	講師：日本ユマニチュード学会 認定インストラクター 林 智史 氏（国立病院機構 東京医療センター 医師） 内容：ユマニチュード®をテーマとした認知症医療や医療安全に関する講演 「ユマニチュード®と医療安全」～尊厳を守るケアの実践と認知症医療のこれから～

（３）ＥＭＩＳ（ 広域災害・救急医療情報システム ）入力訓練及び研修の実施

日　　時	令和７年６月３日（火）、令和７年１０月３０日（木）、令和８年３月１０日（火）
参 加 者	南部保健所管内対象医療機関 埼玉県南部保健医療圏地域災害保健医療調整会議委員
内　　容	医療整備課で行うＥＭＩＳ（広域災害・救急医療情報システム）入力訓練について、医療機関（病院・透析クリニック）への周知や入力確認を行った。 ＊その他、令和７年７月９日（水）に当所の主催で南部・南西部保健医療圏の医療機関を対象に新システムの操作研修を実施した。

（４）所内職員対象の健康危機管理訓練・研修

日　　時	令和７年８月改訂
参 加 者	所内職員（新規採用職員ほか）
内　　容	「南部保健所地震発生時医療救護活動初動マニュアル」および「アクションカード」を改訂。内容は、庁舎管理をはじめとする、発災時の保健所職員の初動、災害時備蓄品の位置、防災行政無線・衛星携帯電話の使用方法、ＥＭＩＳ入力方法等について記載し、それを職員に周知した。

２　保健所業務の専門性強化

（１）医療機関への立入検査の支援

南部保健所管内 実地検査　９病院（他、朝霞保健所管内１０の医療機関にも立入。）

（２）保健所別研修の実施

ア　在宅医療講演会（市民向け講演会）

日　　時	令和７年１０月３０日（木）午後２時から午後４時
場　　所	川口市立西公民館
参 加 者	５２名 川口市、戸田市、蕨市に在住・在勤・在学の方
内　　容	【講師】 （第１部）　埼玉県栄養士会 常任理事 川嶋 啓子 氏 （第２部）　川口歯科医師会 理事 陽野 載紀 氏 【内容】 カラダは食べたものからできている～栄養と嚥下、口腔ケアがつなぐ笑顔と健康～

イ　在宅医療研修（多職種連携の会）

日　　時	令和８年２月１８日（水）　午後２時から４時
場　　所	イオンモール川口前川２階 サイボーホール
参 加 者	１２３名 川口市、蕨市、戸田市に勤務する医療介護関係者
内　　容	（１）基調講演 内容：新しい認知症観や本人視点のケアの重要性等に関する講演 講師：タムスさくら病院川口 認知症看護認定看護師 リー博美 氏 （２）グループワーク 内容：認知症ケアに関する症例検討と多職種の視点・役割等の共有 講評：タムスさくら病院川口 認定看護管理者 看護部長 楢木野 桃子氏

３　調整機能

（１）埼玉県蕨・戸田地区救急医療対策協議会の開催

日　　時	令和８年１月３０日（金）午後１時から午後２時４５分
場　　所	蕨市保健センター
参 加 者	埼玉県蕨・戸田地区救急医療対策協議会委員：１１名
内　　容	医師会、輪番病院の代表、救命救急センター、消防、行政等の関係者が救急医療対策について協議する。 ≪議事≫ （１）蕨・戸田地区の救急医療の現況について ①救急活動状況について（資料１－１） ②小児救急及び休日平日夜間医療利用状況について（資料１－１） ③病院群輪番制病院等の現況について（資料１－２） （２）災害時に備えた活動について（資料２） ①南部保健医療圏地域災害時保健医療調整会議について ②南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制検討委員会について

（２）南部地域保健医療協議会　在宅医療部会

協議会の専門部会として、平成２５年度から在宅医療部会を設置し、在宅医療・介護連携等の情報共有、研修会及び地域住民向けの講演会を行っている。

日　　時	令和７年５月２３日（金）　午後１時３０分から午後３時
場　　所	南部保健所 大会議室
参 加 者	医師会、歯科医師会、薬剤師会、在宅医療関係機関（支援センター、サポートセンター、医療機関、訪問看護ステーション、地域包括支援センター）、行政（各市、保健所長）等　　計２３名
内　　容	議 題 （１）令和６年度各機関における在宅医療の取組について （２）令和７年度在宅医療部会における取組について （３）その他 情報交換

Ⅱ　総務・地域保健推進担当

１　衛生関係免許事務

県内の各保健所では、県民サービスの向上を目的として、衛生関係の厚生労働大臣及び知事免許等に関する事務を取り扱っています。令和７年度の免許申請等の受理件数は下表のとおりです。

（１）厚生労働大臣免許

区　　分	新　規	名簿訂正 書換え	再交付	抹　消	計
医　　師	４	４	０	１	９
歯科医師	１	０	０	０	１
薬　剤　師	１６	１５	１	０	３２
管理栄養士	１７	１６	２	０	３５
保　健　師	６	１２	１	０	１９
助　産　師	２	３	０	０	５
看　護　師	６８	６７	５	０	１４０
診療放射線技師	６	２	０	０	８
臨床検査技師	７	６	０	０	１３
衛生検査技師	０	０	０	０	０
理学療法士	２０	９	０	０	２９
作業療法士	９	４	１	０	１４
視能訓練士	６	０	０	０	６
計	１６２	１３８	１０	１	３１１

（２）埼玉県知事免許

区　　分	新　規	名簿訂正 書換え	再交付	抹　消	計
調　理　師	４３	６	３	０	５２
製菓衛生師	５	０	０	０	５
クリーニング師	０	０	０	０	０
准看護師	３	２	０	０	５
栄　養　士	１６	１７	２	０	３５
登録販売者	１３	２	０	０	１５
計	８０	２７	５	０	１１２

（３）他都道府県知事免許

区　　分	新　規	名簿訂正 書換え	再交付	抹　消	計
准看護師	０	１	１	０	２

２　地域保健医療計画の推進

埼玉県地域保健医療計画に基づく南部保健医療圏の重点的な取組を推進するため、管内医師会等の関係団体を構成員とする南部地域保健医療協議会において協議しています。また、同医療圏の県地域医療構想の達成を推進するため、保健医療提供者や行政機関の代表等で構成する南部地域医療構想調整会議を開催して様々な課題等について協議を行っています。

令和７年度は第８次埼玉県保健医療計画や病床整備等の議題について協議を行いました。

（１）南部地域医療構想調整会議

構　成　員	・保健医療提供者代表（医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関等） ・行政機関代表（各市、保健所長等）
開 催 日 時 及 び 議 事	①　令和７年８月２６日（火）　午後１時３０分から午後３時 令和５年度病床機能報告・定量基準分析について　等 ②　令和７年１２月１６日（火）　午後１時３０分から午後３時 病床整備の進捗状況について、令和６年度病床機能報告の結果について　等 ③　令和８年３月１１日（水）　午後１時３０分から午後３時 新たな地域医療構想の検討状況について、紹介受診重点医療機関について　等

（２）南部地域保健医療協議会

構　成　員	・保健医療提供者代表（医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関等） ・保健医療利用者代表（母子愛育会、食生活改善推進員協議会等） ・行政機関代表（各市、保健所長等）
開 催 日 時 及 び 議 事	令和７年６月１０日（火）から６月１６日（月）　書面開催 南部保健医療圏『圏域別取組』の取組状況について

３　統計

厚生行政施策の基礎資料を得るために厚生労働省が行っている、人口動態調査をはじめとする各種衛生調査事務を行っています。調査内容は、埼玉県知事（保健医療部保健医療政策課）を通じて厚生労働省に送付されます。なお、結果は厚生労働省や埼玉県（保健医療部保健医療政策課）のホームページから検索することができます。

※ 厚生労働省の統計のページ　http://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
　政府統計の総合窓口　http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do
　埼玉県ホームページ　http://www.pref.saitama.lg.jp/

保健所が行っている主な統計調査の概要は、次のとおりです。

調査名・調査頻度・最新調査日等	概　　要
人口動態調査 （毎月）	各市町村に提出された出生、死亡、死産、婚姻及び離婚についての届出に基づいて行われる調査。
国民生活基礎調査 （毎年・抽出調査）	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項についての調査。３年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年には、世帯の基本的事項及び所得の状況について小規模で簡易な調査を実施。
社会保障・人口問題基本調査 （毎年・抽出調査）	人口・社会保障の実態把握のために行われる、統計法に基づく一般統計調査。５つの全国標本調査を毎年１調査ずつ実施。
衛生行政報告例 （毎年。項目により２年に１度）	保健所で実施している、衛生関係諸法規の施行に伴う衛生行政についての調査。 精神保健福祉関係、栄養関係、生活衛生関係、食品衛生関係、医療関係、薬事関係、特定疾患（難病）関係及び狂犬病予防関係等、内容は多岐にわたる。 看護師・保健師・助産師・歯科衛生士等は、２年に１度の調査項目である。
医療施設調査 ①動態調査(毎月) ②静態調査(３年に１度)	病院、診療所及び歯科診療所について、分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握することを目的とした調査。

なお、令和７年度に行った上記以外の統計調査は下記のとおりです。

（１）　病院報告（毎月）
（２）　地域保健・健康増進事業報告（毎年）

４　医務

（１）医療施設の状況

令和８年３月３１日現在

	病　院	一般診療所			歯　科 診療所	助産所	施術所	歯　科 技工所
		有　床	無　床	合　計				
蕨　市	２	－	５２	５２	３７	２	１６８	１３
戸田市	６	１	９４	９５	６２	６	１９０	２０
計	８	１	１４６	１４７	９９	８	３５８	３３

注：施術所とは、あん摩マッサージ、指圧、はり、きゅう及び柔道整復を行う施設(出張専業を含む)。

（２）病院・有床診療所の病床数

令和８年３月３１日現在

	病　院							診　療　所	
	施設数	病床数 総　数	一　般	療　養	精　神	結　核	感染症	有　床 施設数	病床数
蕨　市	２	１７６	１３０	４６	－	－	－	－	－
戸田市	６	１，４８４	６８９	２４５	５５０	－	－	１	１９
計	８	１，６６０	８１９	２９１	５５０	－	－	１	１９

（３）事務処理状況

令和７年度

	病　院	診療所	歯　科 診療所	助産所	施術所	歯　科 技工所	計
開設許可	－	５	２	－	－	－	７
使用許可	８	－	－	－	－	－	８
開設届等	－	７	２	１	１２	－	２２
廃止届等	１	１０	３	１	８	－	２３
上記以外の 許可・届出等	２３	７９	２８	－	２７	－	１５７

注：１　開設届等には、再開届及び出張業務開始届を含む。
　　２　廃止届等には、死亡届及び休止届を含む。
　　３　施術所とは、あん摩マッサージ、指圧、はり、きゅう及び柔道整復を行う施設（出張専業を含む）。

（４）救急告示医療機関数

令和８年３月３１日現在

区　　分	蕨　　市	戸　田　市
病　　院	１	４
診　療　所	－	１

（５）救急医療体制　　**令和７年４月１日現在**

蕨・戸田地区（蕨市・戸田市）

（ア）　初期救急医療体制　　①　休日・平日夜間急患診療所

(社)蕨戸田市医師会立蕨休日･平日夜間急患診療所

(社)蕨戸田市医師会立戸田休日･平日夜間急患診療所

②　在宅当番医（産婦人科）（２病院２診療所）

診療日：日曜日・祝日・休日・年末年始

（イ）　第二次救急医療体制　病院群輪番制　（４病院）

（ウ）　第三次救急医療体制　埼玉県救命救急センター　（川口市立医療センター内）

（エ）　小児夜間救急医療体制　小児救急医療支援事業　（２病院）

（オ）　救急医療情報システム　埼玉県救急医療情報センター（埼玉県県民健康センター内）

（６）医療安全相談

医療に関する苦情や相談への対応及び医療機関の情報を提供しました。

令和７年度相談受付件数　　４３件

（７）医療関係従事者数

医師・歯科医師・薬剤師の数値は令和６年１２月３１日現在
保健師以下の職種の数値は令和６年１２月３１日現在

単位：人

区　　分	管　内	蕨　市	戸田市	埼玉県
医　　師	３６８	７７	２９１	１４，３２３
歯科医師	１６７	５６	１１１	５，１８０
薬　剤　師	４８１	１５９	３２２	１７，２７０
保　健　師	３５	２３	１２	２，５４７
助　産　師	７６	１４	６２	１，６５７
看　護　師	１，６３３	２７６	１，３５７	６０，６３９
准看護師	２１３	６６	１４７	１０，８６０
歯科衛生士	２０３	６８	１３５	６，９３５
歯科技工士	３２	２１	１１	１，１３３

資料　医師・歯科医師・薬剤師　：「埼玉県保健統計年報」（保健医療政策課）
保健師以下の職種　：「医療関係従事者届集計結果」（埼玉県保健医療部医療整備課）
注１　隔年調査
注２　就業者数は就業地により届出のあった数値

５　医師臨床研修・地域保健実習

研修医が、医師としての人格を涵養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識し、①保健所の役割を理解すること　②臨床の中での地域保健・公衆衛生活動全般とのつながりを理解すること　③地域保健分野の人材養成に資することを目的として実施する臨床研修です。

令和７年度は、獨協医科大学から１名（令和７年１１月２５日から２８日）、さいたま赤十字病院から３名の研修医が参加しました（令和７年１１月２６日から２８日）。

６　学生実習

医師・保健師・管理栄養士などの専門職の育成を支援するため、大学から実習生を受け入れ、公衆衛生活動の実務について実習指導を行うものです。

令和７年度の実施状況は、下表のとおりです。

学　校　名	人　数	実　習　期　間
人間総合科学大学保健医療学部	８人	令和７年６月９日から１３日（４人） 令和７年６月２３日から２７日（４人）
目白大学看護学部	５人	令和７年５月２６日から３０日（２人） 令和７年６月２日から６日（３人）
防衛医科大学校医学教育部	２５人	令和７年４月２４日
十文字学園女子大学人間生活学部	２人	令和７年１０月１４日から２４日
女子栄養大学栄養学部	３人	令和７年１０月１４日から２４日

Ⅲ　保健予防推進担当

１　感染症予防

保健所では「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、「法」という）に基づき、一類から五類までの感染症の法的対応、発生動向の把握、予防、まん延防止等に努めています。

（１）感染症対策

ア　感染症患者発生

令和７年度　単位:件

分　類（※１）	病　　名	発生件数（※２）
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	１１
四類感染症	レジオネラ症	3
	E 型肝炎	1
五類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	2
	後天性免疫不全症候群（HIV 感染症を含む）	1
	水痘	5
	梅毒	２０
	百日咳	７９
	麻疹	2

※１ 一類及び二類感染症（結核を除く）の発生はない。
※２ 感染症発生動向調査による。

イ　感染症診査協議会

法第２４条（感染症の診査に関する協議会）に基づき設置されています。感染症発生時の患者等への就業制限、入院勧告、入院勧告の延長及び法第３７条の２（結核患者の医療）の通院医療費公費負担申請についての保健所長の諮問に対し、診査と答申を行います。

令和７年度の診査協議会委員の構成は、感染症指定医療機関の医師２名、感染症指定医療機関以外の医師１名、弁護士１名及び保健師１名の５名でした。

感染症診査協議会診査状況　　※条項は感染症法　　令和７年度

開催日数	出席委員数（延べ人数）	就業制限（第 18 条）	応急入院（第 19 条）	入院勧告（第 20 条第 1 項）	入院勧告延長（第 20 条第 4 項）	結核患者の医療（第 37 条の 2）
２４日	１１７名	１７件	６件	６件	１４件	４３件
結核以外（再掲）		１１件	０件	０件	０件	―

ウ　管内感染症担当者会議

健康に重大な影響を及ぼす感染症が発生した場合に備え、管内の関係機関と連携を図るとともに、早期に対応が行える体制を整備することを目的として実施しています。令和７年度は管内有症医療機関すべてに参加を促し、オンラインで開催しました。

開　催　日	令和８年２月１９日（木）
参　加　者	３２名 （管内の医師会、病院、診療所、消防本部、市保健センター、保健所の職員等）
内　　容	１　保健所の報告 （１）感染症発生動向調査事業について （２）管内健康危機対処計画（感染症編）机上訓練の実施報告 （３）感染症事務処理のＤＸ化について （４）性感染症検査事業について （５）その他事業の報告 ２　情報提供 （１）急性呼吸器感染症定点サーベイランスについて （２）各施設からの報告

エ　健康危機対処計画による訓練

令和６年度に策定された健康危機対処計画に基づき、新たな感染症発生時に迅速に対応するため日頃から訓練を実施しています。

①　所内訓練　集合形式による実動訓練

開　催　日	令和７年１１月１０日（月）・１１月１１日（火）
参　加　者	３０名（所内の職員）
内　　容	１　個人防護具着脱訓練 ２　手指衛生訓練

②　所外訓練　オンラインによる机上訓練

開　催　日	令和７年１２月１８日（木）
参　加　者	３３名 （管内の病院、クリニック、南部医療圏内感染対策加算１病院の職員）
内　　容	１　新興感染症の発生に向けた備えについて ～医療措置協定の内容と実効性～　（感染症対策課） ２　新興感染症発生時に向けた公平病院の取り組みと今後の課題について 医療法人慈公会　公平病院　看護部長　橋本　恵美子氏

	３　机上訓練に伴う事前アンケートのフィードバック ４　意見交換

オ　感染症対策研修会

感染症危機管理対策の一環として、平時から施設での感染症発生時に備えるため、研修を実施しています。令和７年度はオンラインで開催しました。

開　催　日	令和８年２月１０日（火）
参　加　者	１９名 （管内の高齢者施設、福祉・障害者施設等の職員）
内　　容	１　管内の感染症発生動向及びア事前アンケート結果のフィードバック ２　ガントチャート作成のポイントと意義 ３　意見交換・質疑応答

（２）結核対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、健康診断、患者管理、感染防止、結核医療を根幹として一貫した対策を行っています。

結核患者への療養支援では、入院勧告・医療費公費負担等の法的対応とともに、服薬支援、その家族・接触者に対する健康診断の実施等、結核対策を重要な事業として、その対応に努めています。

（以下、ア～ウの表は厚生労働省の統計（年計）による。）

ア　結核患者登録者数（活動性分類）

令和７年１２月３１日現在、法に基づく当所の結核患者登録者数は３７人でした。

種別	活動性結核							合計	不活動性結核	活動性不明	総計	（別掲）潜在性結核感染症
	肺結核活動性						肺外結核活動性					
	登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性・その他	小計						
	初回治療	再治療	小計									
計	2	0	2	5	1	8	8	16	18	3	37	7

イ　新登録者数（活動性分類）

令和７年に、新たに登録された管内の結核患者は１９人でした。

出生国は、日本生まれが１１人、外国生まれが８人でした。

令和７年　　単位：人

種別／市別	活動性結核								
	肺結核活動性						肺外結核活動性	合計	（別掲）潜在性結核感染症
	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他	小計			
	初回治療	再治療	小計						
計	4	1	5	5	1	11	8	19	12

ウ　新登録者数（年齢別）　※潜在性結核感染症を除く

令和７年　　単位：人

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	49～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
人数	0	4	1	4	0	1	2	7	19

エ　結核健康診断実施状況

接触者健診及び管理検診の実施状況です。結核の早期発見・早期治療のため健康診断を行っています。

令和７年度　　単位：人

種別	ツベルクリン反応検査	エックス線検査		喀痰検査	ＩＧＲＡ検査	被発見者数
		間接撮影	直接撮影			
接触者健診	0	－	63	0	131	10
管理検診	0	－	48	0	0	0
計	0	0	111	0	131	10

オ　保健指導

結核患者の治療完了率の向上を図ることを目的に「服薬確認を軸とした患者支援（「ＤＯＴＳ」という）」を実施しています。

患者を取り巻く状況を考慮した服薬支援ができるようカンファレンスを行い、保健指導を実施しました。

令和７年度

相談		DOTS	
電話（延べ人員）	来所（延べ人員）	実人員	訪問件数（延べ人員）
１，３７４	３８	３２	１５６

（３）性感染症・Ｂ型/Ｃ型肝炎・ＨＴＬＶ－１対策

保健所では、性感染症・Ｂ型/Ｃ型肝炎・ＨＴＬＶ－１に関する健康相談や検査を実施することで、予防や感染者の早期発見に努めています。

令和７年度は、原則、毎月第一水曜日にＨＩＶの即日検査、第三水曜日に性感染症の通常検査を実施しています。

相談・検査件数　　令和７年度　　単位：件

検査件数（延べ件数）		計
ＨＩＶ（エイズ）	即　日	１０
	通　常	７８
梅毒	通　常	７８
クラミジア	通　常	７８
ＨＢＶ（Ｂ型肝炎）	通　常	８１
ＨＣＶ（Ｃ型肝炎）	通　常	８１
ＨＴＬＶ－１	通　常	１
相談件数（電話・面接　延べ件数）		３１２

２　母子保健

（１）　母子保健訪問指導状況

子どもの心の健康づくり事業・小児慢性医療給付事業等で訪問した件数を計上しています。

令和７年度　　単位：人

	計		妊産婦		未熟児を除く新生児		未熟児		未熟児・新生児を除く乳児		幼　児		その他	
実施数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数
	１０	２８	０	０	０	０	０	０	０	０	３	６	７	２２

（２）子どもの心の健康づくり事業

ア　子どもの心の健康相談

子どもの心の健康問題に対応するため専門相談窓口を開設し、関係機関との連携や事例についての検討も重ね、次世代を担う子どもの健全育成を図ることを目的として実施しています。

令和７年度　　単位：件

令和７年度相談件数	計	医師相談	心理士相談
	１９	７	１２

【主な相談内容】発達障害、不登校、暴力、感情コントロール、学校での生活等

イ　子どもの心のネットワーク事業

研修会

日　　程	令和７年８月５日（火）
場　　所	南部保健所　大会議室
参　加　者	３４名 （保育・幼稚園、中学校養護教諭、相談支援事業所、訪問看護ステーション、保健センター、児童福祉課、児童相談所、保健所職員）
内　　容	子どもをもっと深く理解するために～保護者との関係づくりのヒント～ 講師　オガタ心理臨床サービス　代表　緒方　広海　氏

（３）長期療養児教室

ア　集団指導

小児慢性特定疾病医療給付受給者とその保護者等を対象に、日常生活を送る上で抱えている不安や悩みに対して、家族同士の交流及び情報交換を目的として、長期療養児教室を実施しています。

	実施回数	参加者 延べ人数
集団指導	３	５４

イ　研修会、会議

地域の関係者が医療的ケア児の療養生活を理解し相談スキルを高め、また関係者間の連携強化を図り、医療的ケア児が健やかに心身の発育発達ができることを目的として研修会及び会議を実施しています。

研修会

日　　程	令和７年１０月２２日（水）
場　　所	南部保健所　大会議室
参 加 者	８名（医療的ケア児コーディネーター等）
内　　容	医療的ケア児に関する情報交換会

会議

日　　程	令和７年９月３０日（火）
場　　所	南部保健所　大会議室
参 加 者	３５名（相談支援事業所担当者、市障害福祉・保健衛生主管課職員）
内　　容	地域支援者のための疾病受容と援助～〝いま〟の気持ちに寄り添う支援～ 講師　戸田中央総合病院 カウンセリング室 室長　　大下 智子　氏

（４）妊娠期からの虐待予防強化事業

平成１９年度から実施してきた、総合及び地域周産期医療センターと地域機関の連携による「周産期からの虐待予防強化事業」を発展させ、平成２８年度からは全ての産婦人科医療機関から支援が必要と判断される事例を早期に把握、地域機関と連携し育児不安等を軽減させ、児童虐待の予防を図ることを目的として、「妊娠期からの虐待予防強化事業」を開始しました。

妊娠期からの虐待予防強化事業が開始されたことに伴い、産婦人科医療機関からの連絡票は、直接市町村保健機関へ通知されるようになりました。

ア　養育支援連絡票等受理件数　　令和７年度　単位：件

様　　式	管 内 合 計	蕨　　市	戸 田 市
養育支援連絡票	７６	３６	４０
その他様式	３７	５	３２

イ　研修会等実施状況

妊娠期からの虐待予防強化事業を円滑に推進し、支援が必要なハイリスク事例を、医療機関と地域機関が早期から連携した支援を行い児童虐待予防に資するため、支援者の技術向上と、より円滑な連携の促進を目的とした研修会や連絡会議を実施しています。

日　　時	令和７年７月２５日（金）
場　　所	南部保健所　大会議室
参 加 者	２１名（保健センター、児童相談所、医療機関、保育園、学校、支援事業所等）
内　　容	家族造形法を活用した事例研究会 講師　埼玉県立大学　名誉教授　市村　彰英　氏

（５）保健所別連携調整会議

管内の母子保健に関する情報交換等を行うことで業務の円滑化を図ると共に、母子保健業務に関係する保健師等の対応技術の向上を目的とした連携調整会議を例年実施しています。

１回目

日　　程	令和７年５月１２日（月）
場　　所	南部保健所　大会議室
参 加 者	８名（保健センター、保健所職員）
内　　容	令和６年度母子保健事業実績及び令和７年度母子保健事業について

２回目

日　　程	令和８年２月１６日（月）
場　　所	南部保健所　小会議室
参 加 者	１５名（管内市保健センター、医療機関、産後ケア事業所、保健所職員）
内　　容	母子保健分野に関する地域連携について

（６）母子保健医療給付事業

妊産婦の療養援護及び児童の健全育成と福祉の向上を図るため、医療費の助成を行いました。

ア　小児慢性特定疾病医療費助成制度（根拠法令：児童福祉法第１９条の２）

小児慢性特定疾病の治療研究を推進し治療法の確立と普及を図るとともに、医療費の負担を軽減するため医療費の助成を行いました。

小児慢性特定疾病医療給付受給者数　　令和８年３月３１日現在　　単位：人

疾　患　群	受　給　者　数
悪性新生物	２６
慢性腎疾患	１１
慢性呼吸器疾患	３
慢性心疾患	３７
内分泌疾患	２９
膠原病	６
糖尿病	１４
先天性代謝異常	５
血液疾患	９
免疫疾患	２
神経・筋疾患	１４
慢性消化器疾患	２２
染色体及び遺伝子に変化を伴う症候群	８
皮膚疾患	１
骨系統疾患	２
脈管系疾患	０
合　　計	１８９

イ　妊娠中毒症等療養援護（根拠規定：埼玉県妊娠中毒症等療養援護費支給要領）

令和７年度　０人

ウ　結核児童療育医療給付（根拠法令：児童福祉法第２０条）

結核にり患し、入院治療を要する児童に対して、医療と学習用品・日用品を給付します。

令和７年度　０人

（７）受胎調節実地指導員指定（母体保護法第１５条第１項）

令和７年度　０人

３　難病

（１）医療費の公費負担

いわゆる難病のうち、特定の疾患[指定難病、県単独指定難病、先天性血液凝固因子欠乏症（２０歳以上）等に対して医療給付を行い、適正な医療の普及と医療費の負担軽減を図りました。

ア　指定難病医療給付受給者延べ人数

令和８年３月３１日現在　　単位：人

	病　　名	受給者数
001	球脊髄性筋萎縮症	０
002	筋萎縮性側索硬化症	１０
003	脊髄性筋萎縮症	１
004	原発性側索硬化症	０
005	進行性核上性麻痺	２０
006	パーキンソン病	１８６
007	大脳皮質基底核変性症	０
008	ハンチントン病	０
009	神経有棘赤血球症	０
010	シャルコー・マリー・トゥース病	２
011	重症筋無力症	３８
012	先天性筋無力症候群	０
013	多発性硬化症／視神経脊髄炎	５４
014	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	１０
015	封入体筋炎	１
016	クロウ・深瀬症候群	０
017	多系統萎縮症	１０
018	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	２６
019	ライソゾーム病	８
020	副腎白質ジストロフィー	０
021	ミトコンドリア病	０
022	もやもや病	１９
023	プリオン病	０
024	亜急性硬化性全脳炎	０
025	進行性多巣性白質脳症	０
026	ＨＴＬＶ－１関連脊髄症	０
027	特発性基底核石灰化症	０
028	全身性アミロイドーシス	６
029	ウルリッヒ病	０

	病　　名	受給者数
030	遠位型ミオパチー	２
031	ベスレムミオパチー	０
032	自己貪食空胞性ミオパチー	０
033	シュワルツ・ヤンペル症候群	０
034	神経線維腫症	５
035	天疱瘡	２
036	表皮水疱症	０
037	膿疱性乾癬（汎発型）	２
038	スティーヴンス・ジョンソン症候群	０
039	中毒性表皮壊死症	０
040	高安動脈炎	２
041	巨細胞性動脈炎	８
042	結節性多発動脈炎	２
043	顕微鏡的多発血管炎	２０
044	多発血管炎性肉芽腫症	６
045	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	１５
046	悪性関節リウマチ	４
047	バージャー病	０
048	原発性抗リン脂質抗体症候群	２
049	全身性エリテマトーデス	１１４
050	皮膚筋炎／多発性筋炎	３６
051	全身性強皮症	２８
052	混合性結合組織病	１６
053	シェーグレン症候群	２１
054	成人発症スチル病	９
055	再発性多発軟骨炎	３
056	ベーチェット病	１６
057	特発性拡張型心筋症	８
058	肥大型心筋症	６
059	拘束型心筋症	０
060	再生不良性貧血	７
061	自己免疫性溶血性貧血	３
062	発作性夜間ヘモグロビン尿症	２
063	免疫性血小板減少症	２０

	病　　名	受給者数
064	血栓性血小板減少性紫斑病	０
065	原発性免疫不全症候群	５
066	ＩｇＡ 腎症	３０
067	多発性嚢胞腎	２７
068	黄色靱帯骨化症	５
069	後縦靱帯骨化症	４３
070	広範脊柱管狭窄症	１４
071	特発性大腿骨頭壊死症	１５
072	下垂体性 ADH 分泌異常症	５
073	下垂体性 TSH 分泌亢進症	０
074	下垂体性 PRL 分泌亢進症	４
075	クッシング病	０
076	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	０
077	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	６
078	下垂体前葉機能低下症	３７
079	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	１
080	甲状腺ホルモン不応症	０
081	先天性副腎皮質酵素欠損症	２
082	先天性副腎低形成症	０
083	アジソン病	１
084	サルコイドーシス	１９
085	特発性間質性肺炎	１７
086	肺動脈性肺高血圧症	１０
087	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	０
088	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	１２
089	リンパ脈管筋腫症	４
090	網膜色素変性症	２６
091	バッド・キアリ症候群	１
092	特発性門脈圧亢進症	０
093	原発性胆汁性胆管炎	１６
094	原発性硬化性胆管炎	２
095	自己免疫性肝炎	１０
096	クローン病	８９
097	潰瘍性大腸炎	２５０

	病　　名	受給者数
098	好酸球性消化管疾患	4
099	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
103	CFC 症候群	0
104	コステロ症候群	0
105	チャージ症候群	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
107	若年性特発性関節炎	4
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
110	ブラウ症候群	0
111	先天性ミオパチー	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
113	筋ジストロフィー	１２
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0
116	アトピー性脊髄炎	0
117	脊髄空洞症	2
118	脊髄髄膜瘤	0
119	アイザックス症候群	0
120	遺伝性ジストニア	0
121	脳内鉄沈着神経変性症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0
123	ＨＴＲＡ１関連脳小血管病	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0
126	ペリー病	0
127	前頭側頭葉変性症	1
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0
130	先天性無痛無汗症	0
131	アレキサンダー病	0

	病　　名	受給者数
132	先天性核上性球麻痺	0
133	メビウス症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0
135	アイカルディ症候群	0
136	片側巨脳症	0
137	限局性皮質異形成	0
138	神経細胞移動異常症	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0
140	ドラベ症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0
144	レノックス・ガストー症候群	0
145	ウエスト症候群	0
146	大田原症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0
150	環状 20 番染色体症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0
152	ＰＣＤＨ19 関連症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0
154	睡眠時棘徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症及びてんかん性脳症	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0
156	レット症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1
158	結節性硬化症	1
159	色素性乾皮症	0
160	先天性魚鱗癬	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	8
163	特発性後天性全身性無汗症	2
164	眼皮膚白皮症	0
165	肥厚性皮膚骨膜症	0

	病　　名	受給者数
166	弾性線維性仮性黄色腫	0
167	マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群	1
168	エーラス・ダンロス症候群	0
169	メンケス病	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0
171	ウィルソン病	1
172	低ホスファターゼ症	0
173	VATER 症候群	0
174	那須・ハコラ病	0
175	ウィーバー症候群	0
176	コフィン・ローリー症候群	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0
179	ウィリアムズ症候群	0
180	ＡＴＲ－Ｘ症候群	0
181	クルーゾン症候群	0
182	アペール症候群	0
183	ファイファー症候群	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0
185	コフィン・シリス症候群	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	1
187	歌舞伎症候群	0
188	多脾症候群	0
189	無脾症候群	0
190	鰓耳腎症候群	0
191	ウェルナー症候群	0
192	コケイン症候群	0
193	プラダー・ウィリ症候群	1
194	ソトス症候群	0
195	ヌーナン症候群	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0
197	１p36 欠失症候群	0
198	４p 欠失症候群	0
199	５p 欠失症候群	0

	病　　名	受給者数
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0
201	アンジェルマン症候群	0
202	スミス・マギニス症候群	0
203	22q11.2 欠失症候群	0
204	エマヌエル症候群	0
205	脆弱Ｘ症候群関連疾患	0
206	脆弱Ｘ症候群	0
207	総動脈幹遺残症	0
208	修正大血管転位症	0
209	完全大血管転位症	0
210	単心室症	0
211	左心低形成症候群	0
212	三尖弁閉鎖症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
215	ファロー四徴症	1
216	両大血管右室起始症	0
217	エプスタイン病	0
218	アルポート症候群	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	3
222	一次性ネフローゼ症候群	３１
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0
224	紫斑病性腎炎	1
225	先天性腎性尿崩症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1
227	オスラー病	1
228	閉塞性細気管支炎	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1
230	肺胞低換気症候群	0
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	0
232	カーニー複合	0
233	ウォルフラム症候群	0

	病　　名	受給者数
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0
235	副甲状腺機能低下症	1
236	偽性副甲状腺機能低下症	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
240	フェニルケトン尿症	0
241	高チロシン血症１型	0
242	高チロシン血症２型	0
243	高チロシン血症３型	0
244	メープルシロップ尿症	0
245	プロピオン酸血症	0
246	メチルマロン酸血症	0
247	イソ吉草酸血症	0
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	0
249	グルタル酸血症１型	0
250	グルタル酸血症２型	0
251	尿素サイクル異常症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0
254	ポルフィリン症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
256	筋型糖原病	0
257	肝型糖原病	0
258	ガラクトース－１－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
260	シトステロール血症	0
261	タンジール病	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0
263	脳腱黄色腫症	0
264	無βリポタンパク血症	0
265	脂肪萎縮症	1
266	家族性地中海熱	0
267	高ＩｇＤ症候群	0

	病　　名	受給者数
268	中條・西村症候群	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
271	強直性脊椎炎	１５
272	進行性骨化性線維異形成症	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
274	骨形成不全症	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0
276	軟骨無形成症	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
278	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	0
279	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	0
280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
283	後天性赤芽球癆	0
284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
285	ファンコニ貧血	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
287	エプスタイン症候群	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
289	クロンカイト・カナダ症候群	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0
292	総排泄腔外反症	0
293	総排泄腔遺残	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0
296	胆道閉鎖症	0
297	アラジール症候群	0
298	遺伝性膵炎	0
299	嚢胞性線維症	0
300	ＩｇＧ４関連疾患	6
301	黄斑ジストロフィー	1

	病　　名	受給者数
302	レーベル遺伝性視神経症	0
303	アッシャー症候群	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0
305	遅発性内リンパ水腫	0
306	好酸球性副鼻腔炎	１０１
307	カナバン病	0
308	進行性白質脳症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
310	先天異常症候群	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）/LMX１B 関連腎症	0
316	カルニチン回路異常症	0
317	三頭酵素欠損症	0
318	シトリン欠損症	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0
323	芳香族Ｌ－アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0
326	大理石骨病	0
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
328	前眼部形成異常	0
329	無虹彩症	0
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0
331	特発性多中心性キャッスルマン病	1
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0
335	ネフロン癆	0

	病　　名	受給者数
336	家族性低βリポタンパク血症１（ホモ接合体）	0
337	ホモシスチン尿症	1
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
339	ＭＥＣＰ２重複症候群	0
340	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）	1
341	ＴＲＰＶ４異常症	0
342	LMNB1 関連大脳白質脳症	0
343	PURA 関連神経発達異常症	0
344	極長鎖アシル-CoA 脱水素酵素欠損症	0
345	乳児発症 STING 関連血管炎	0
346	原発性肝外門脈閉塞症	0
347	出血性線溶異常症	0
348	ロウ症候群	0
特定	スモン	0
特定	難治性肝炎のうち劇症肝炎	0
特定	重症急性膵炎	0
特定	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）	0
県単	溶血性貧血（県指定）	0
県単	橋本病	0
県単	特発性好酸球増多症候群（県指定）	0
県単	原発性骨髄線維症	1
指　定　難　病　計		１，６１１
特　定　疾　患　計		0
県　単　独　難　病　計		1
合　　計		１，６１２

令和８年３月３１日現在　　単位：人

指定難病医療給付受給者数	計	蕨　市	戸　田　市
	１，６１１	６００	１，０１１

イ　先天性血液凝固因子欠乏症等医療給付受給者数

令和８年３月３１日現在　　単位：人

先天性血液凝固因子欠乏症等医療給付受給者数	計	蕨　市	戸　田　市
	１２	３	９

（２）相談等

令和７年度（延数）単位：人

来　所　・　電　話	訪　　問
１，５９１	９３

（３）難病訪問相談員育成研修

難病患者等の相談・支援に携わっている相談支援者が基礎的な知識を習得し支援者の相談スキルを高めることで、難病患者のＱＯＬの維持・向上につなげることを目的に実施しています。

日　　時	令和７年８月１日（金）
場　　所	南部保健所　大会議室
参　加　者	４９名 （障害、介護、訪問看護、行政機関等の職員）
内　　容	【テーマ】在宅療養者を守る災害時の多職種連携 １　講義 （１）水害リスク・避難行動要支援者名簿登録制度・個別避難計画について 講師：戸田市危機管理防災課 （２）災害対策における多職種連携の実際　（報告） 報告者：特定相談支援事業所　四季　相談支援専門員　熊坂　梢　氏 （３）在宅療養者を守る災害時の多職種連携 講師：辻川ホームクリニック　院長　辻川　昭仁　氏 ２　グループワーク：「災害対策につながる外出プラン」を検討

（４）ひまわりの会（筋萎縮性側索硬化症　患者家族のつどい）

平成２４年度から奇数月第２水曜日に開催しています。川口市と共催で、病気や医療、支援サービス、介護についての話題を中心に、患者・家族の情報交換の場となっています。

回　　数	４回開催
場　　所	南部保健所　中会議室
参　加　者	延３０名
内　　容	療養状況・日頃の介護・患者の意思決定について 情報交換と共有

（５）疾患別交流会（患者家族のつどい）

患者や家族が集い、意見交換を行うことによって共通の療養生活上の問題を認識し、その対応方法について情報共有をしています。

ア　炎症性腸疾患

日　　時	令和７年７月９日（水）
場　　所	海禅寺（会場協力）
参　加　者	２組４名（当事者・家族）
内　　容	１　自己紹介 ２　テーマ別フリートーク （１）薬のこと・治療の工夫 （２）食事と生活 （３）気持ち・病気との付き合い方 ３　禅宗説法を聞く

イ　全身性エリテマトーデス

日　　時	令和７年９月１０日（水）
場　　所	海禅寺（会場協力）
参　加　者	２組２名（当事者・家族）
内　　容	１　自己紹介 ２　フリートーク （１）仕事について （２）家族について （３）医療機関について

ウ　パーキンソン病

日　　時	令和７年１１月１２日（水）
場　　所	戸田市立市民医療センター
参　加　者	１９名（当事者・家族・支援者）
内　　容	１　自宅でできるパーキンソン病のリハビリ指導 ２　グループ交流 （１）病院について （２）治療について （３）リハビリについて

エ　神経難病等

日　　時	令和８年１月２１日（水）
場　　所	南部保健所
参　加　者	１５名（当事者・家族・支援者） （協力：ワンニャンサポートクラブ）
内　　容	１　セラピードッグとの交流 　　セラピードッグの紹介 ２　患者・家族交流会

（６）難病患者等地域支援連絡会

南部保健医療圏の難病患者への支援、対応の一助とするために、障害福祉サービス等の情報交換を実施しました。

日　　時	令和７年１２月４日（木）
場　　所	川口市青木会館
参　加　者	管内市（蕨市・戸田市）１９名 （管内市及び川口市の障害・介護・保健部門職員、川口市保健所、南部保健所職員）
内　　形	１　各保健所からの報告 （１）指定難病医療給付制度の概要及び改正点 （２）医療給付制度の受給状況及び難病対策事業について ２　災害時の難病支援を考える （１）主に災害対応に結びつく支援状況の報告（各保健所の取組み） （２）個別避難計画について （３）意見交換

（７）南部保健医療圏難病対策地域協議会

南部保健医療圏の難病患者・家族への支援の体制整備を図るとともに、難病患者・家族への支援に必要な事項の検討及び協議のため、川口市保健所と共に平成３０年度に設置しました。

委員は、医療、歯科、薬剤師、看護、在宅療養支援、福祉、介護、保健等各分野の団体から推薦を受けた２８名に委嘱しています。

日　　時	令和８年２月１２日（木）
場　　所	南部保健所　大会議室
参　加　者	委員　２３名
内　　容	（１）難病対策の経緯と難病対策地域協議会について （２）令和７年度南部保健医療圏指定難病にかかる医療給付制度について（アンケート「療養生活のおたずね」集計結果含む） （３）各保健所の難病患者の災害対策支援の報告

４　肝炎治療医療費助成

国内最大級の感染症である、Ｂ型ウイルス性肝炎及びＣ型ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス治療（インターフェロン治療、インターフェロンフリー治療及び拡散アナログ製剤治療で保険適用となっているもの）の医療費を助成し、早期治療につなげることにより、将来的な肝硬変、肝がんの予防や肝炎ウイルスの感染防止を目的としています。

（１）肝炎治療受給者証交付申請件数　　令和７年度　　単位：件

項　　目	件　　数
インターフェロン治療新規申請（３剤以外）	０
インターフェロン治療２回目申請	０
インターフェロン治療３剤併用申請	０
インターフェロンフリー申請	５
核酸アナログ製剤治療新規申請	８
核酸アナログ製剤治療更新申請	１２６
インターフェロン延長申請	０
記載事項変更	６
その他申請（療養費申請含む）	７
計	１５２

（２）肝炎重症化予防費用助成申請件数　　令和７年度　単位：件

項　　目	件　　数
初回精密検査費用請求	０
定期検査費用請求	２
計	２

（３）肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業申請件数　　令和７年度　単位：件

項　　目	件　　数
新規交付申請	１
更新申請	０
その他申請（変更申請等）	１
計	２

５　原爆被爆者援護

県は原爆被爆者の方への援護対策として、被爆者健康手帳や各種手当の申請・届出を各保健所で受け付けています。

（１）被爆者健康手帳所持者数　　令和８年３月３１日現在　　単位：人

計	蕨　　市	戸　田　市
２３	９	１４

（２）各種手当の申請及び届出数　　令和７年度　　単位：件

各種手当の項目	件　　数
介護保険利用被爆者助成金支給申請	１
健康管理手当申請	０
一般疾病医療費支給申請	４
記載事項変更	０
二世手帳交付申請等	１
その他の申請	３
計	９

６　石綿（アスベスト）健康被害救済給付制度

県は独立行政法人環境再生保全機構から委託を受け、各保健所で申請を受付けています。

令和７年度中に当所で受付けた申請は０件でした。

申請受付件数　　令和７年度　　単位：件

本人申請分	認定申請、療養手当請求	０
遺族申請分	特別遺族弔慰金、特別葬祭料請求	０
計		０

7　健康づくり・栄養

（1）栄養指導状況

栄養改善は健康保持の基本です。現在の日本の栄養水準は、国民健康・栄養調査からみても全体的には向上しているとされている一方で、健康面からの栄養バランスの崩れや食習慣の乱れなど諸問題が提起されており、指導を行っています。

令和７年度　単位：人

	個別指導				集団指導		
	栄養指導	病態別（再掲）	訪問指導（再掲）	運動指導	栄養指導	病態別（再掲）	運動指導
２０歳未満	－	－	－	－	－	－	－
２０歳以上	６	０	０	１	０	０	０

（2）国民健康・栄養調査

健康増進法第１０条に基づき、国民の身体の状況、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的に実施します。

無作為抽出で指定された地区で実施しました。併せて「県民の健康に関するアンケート」を実施しました。

調査期間	調査地区	調査内容	調査実施世帯数等
令和７年１１月	１地区	栄養摂取状況調査 身体状況調査 生活習慣調査	９世帯　２６人
		県民の健康に関するアンケート	８世帯　１０人

（3）栄養関係団体育成事業

給食研究会　活動休止中

（4）食育推進事業

ア　保健所管内栄養士連絡調整会議

管内の市保健衛生主管課の栄養士と連絡会議を実施しています。

令和７年度は、健康長寿のための埼玉県地域･職域連携推進事業としてメールでヒアリングを実施し、その情報の還元をもって情報共有しました。

イ　保健所管内栄養関係者研修会　（他機関での研修会等を周知）

日　　程	令和７年５月２０日（火）
場　　所	鴻巣保健所（オンライン参加、６月３０日までの動画配信受講含む）
参 加 者	１４名
内　　容	令和７年度栄養業務スキルアップ研修会 講演「いまさら聞けない栄養サポートの基礎知識 ～信頼される管理栄養士・栄養士を目指して～」 講師　東京医科大学病院　栄養管理科　科長　宮澤　靖　氏

日　　程	令和７年９月１２日（金）
場　　所	大宮ソニックシティ６０３会議室　（ハイブリッド形式）
参 加 者	５名 （オンライン参加）
内　　容	令和７年度食のリスクコミュニケーター研修 （１）テーマ：リスクコミュニケーターに期待すること 講　師：埼玉県食品安全課 職員 （２）テーマ：子どもたちに安全・安心な給食を届けよう（食中毒予防） 講　師：女子栄養大学 教授 斉藤 守弘 氏 （３）テーマ：食の安全におけるリスコミュニケーションとは 講　師：内閣府食品安全委員会 委員 松永 和紀 氏

ウ　食形態一覧の作成

令和６年度の食形態一覧作成検討会の検討結果を受けて、管内医療機関での一覧を作成し医療機関で共有、地域で活用しました。

（５）埼玉県健康づくり協力店

食生活の改善を図るため、栄養情報等の提供、野菜たっぷりメニューの提供を行う飲食店等を埼玉県健康づくり協力店として指定し、健康情報を発信する拠点として県民の健康づくりをサポートしていただいています。

令和８年３月３１日現在　　単位：施設

	和　食	洋　食	中　華	そ の 他
指定施設数	５	１	０	１

（６）埼玉県給食施設栄養管理指導実施要綱に基づく指導・助言

健康増進法に基づき、特定かつ多数の者に対して継続的に食事を供給する施設における栄養管理等の実施について必要な指導・助言等を行うとともに、年に１回栄養管理状況報告書の提出を求めています。

令和７年度

実　地　指　導	指　導・助　言	報 告 書 提 出
１１施設	８９件	１１５施設

（７）埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度

受動喫煙防止対策に積極的に取り組み、令和元年６月から法律上の義務を上回る対策を実施する施設を認証しています。（保健所受理分のみ）

令和８年３月３１日現在　単位：施設

	敷地内禁煙	屋内禁煙（単独施設）	屋内禁煙（テナント等）
認証施設数	２３	２２	３４

（８）健康長寿のための埼玉県地域･職域連携推進事業

生活習慣病予防対策を総合的に推進するため、地域保健と職域保健の連携をより一層強化して効果的な健康長寿体制の構築を図っています。

ア　市町村健康長寿のための情報担当者会議等の開催

会議の代わりに個別ヒアリングを実施し、その結果の情報提供をしました。

イ　地域・職域連携推進会議

日　　時	令和８年３月１２日（木）
場　　所	南部保健所　大会議室
参 加 者	１４名 （全国健康保険協会埼玉支部、管内市保健衛生主管課、国保医療主管課、県衛生研究所　他）
内　　容	１　情報提供（活動紹介等） （１）地域・職域連携について 講師　埼玉県健康長寿課　新井　里美　氏 （２）既存データから見る埼玉県及び南部保健所の健康課題について 講師　埼玉県衛生研究所　松岡　綾子　氏 （３）戸田市の特定健診に関する取組について 講師　戸田市保険年金課　奥野　加奈子　氏 （４）協会けんぽ埼玉支部の健康づくり事業について 講師　全国健康保険協会埼玉支部　芳賀　有子　氏 ２　意見交換

ウ　効果的な保健指導実施支援事業

国保・後期高齢者ヘルスサポート事業拠点保健所別研修会

日　　時	令和７年１１月２６日（水）　午後１時３０分から午後４時１０分
場　　所	南部保健所　大会議室
参 加 者	２８名（内管内市担当者４名）
内　　容	国保・後期高齢者ヘルスサポート事業拠点保健所別研修会 グループワーク 「特定健診に関する取り組みの共有について」 「中間評価に向けた取組みの共有について特定保健指導・積極的支援のアウトカム評価の導入等について」 講師　帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授　福田　吉治　氏 ※ 拠点保健所別のグループに分かれて実施

エ　健康長寿サポーター養成に関する支援

開催日	場所	内容（研修会等名称）	参加者
令和７年４月２４日 （木）	南部保健所 大会議室	健康長寿サポーター養成講座 （合同オリエンテーション内）	４３名 実習生

８　歯科保健

歯科口腔保健を推進するため、保健所、関係機関職員、地域の歯科医師、歯科衛生士との連携を図ることを目的に地域における歯科保健医療サービスについて、研修会を実施しました。

日　　程	令和７年１１月２６日（水）　午後１時３０分から午後４時１０分
場　　所	南部保健所　大会議室
参 加 者	１６名
内　　容	保健所歯科口腔保健連携会議 １　講話 ⑴「埼玉県歯科医師会地域保健部の活動について」 講師　埼玉県歯科医師会　地域保健部　西牧　修也　氏 ⑵「埼玉県の歯科保健事業の取り組みについて～第４次歯科口腔保健推進計画に基づき～」 講師　埼玉県保健医療部健康長寿課　主査　石川　清子　氏 ⑶「蕨戸田歯科医師会の在宅歯科医療への取り組みについて」 講師（一社）蕨戸田歯科医師会 在宅歯科医療部部長 柳下 崇 氏 ⑷「摂食嚥下障害への取り組みと医科歯科連携における言語聴覚士の役割」 講師：医療法人社団東光会　戸田中央リハビリテーション病院 リハビリ運営室係長　中垣　友徳　氏 ２　グループワーク 「歯科口腔保健の現状と課題～その解決に向けて～」

９　精神保健福祉

（１）申請・通報対応（根拠法令：精神保健福祉法第２２条～２６条）

ア　申請・通報による精神保健診察及び措置件数　　令和７年度　　単位：件

区　　分	計	一　般 (22 条)	警察官 通　報 (23 条)	検察官 通　報 (24 条)	保　護 観察所 (25 条)	矯　正 施　設 (26 条)	精神病院 の管理者 (26 条2)
申請通報件数	２０９	－	１６６	１６	－	２６	１
精神保健診察件数	８３	－	７３	１０	－	０	０
措置入院件数	６３	－	５７	６	－	０	０

※ 緊急措置入院は８件で、緊急措置入院後の再診察で３件措置入院になりました。

イ　警察署別２３条通報件数　　令和７年度　　単位：件

警察署名	計	川　口	武　南	蕨
通報件数	１６６	６３	３１	７２

（２）精神保健福祉相談（根拠法令：精神保健福祉法第４７条）

ア　相談件数　　令和７年度　　単位：件

	訪　問	面　接	電話・メール
実　　件　　数	１４６	２２１	－
延　べ　件　数	３７５	５８８	３，９１２

※ 電話及びメールによる相談は延べ件数のみ把握しています。

イ　専門相談　　令和７年度

	実施回数	相談延べ件数
ひきこもり相談（臨床心理士）	５回	９件

（３）地域精神保健推進事業（根拠法令：精神保健福祉法第２条、４６条）

南部保健所管内精神保健福祉連絡会

管内の精神保健福祉等関係機関の連携強化と課題共有及び年間活動方針の検討のため実施しています。

名　　称	精神保健福祉連絡会（管内市担当者会議）
実　施　日	令和７年５月２０日（火）午前１０時から午前１１時（蕨市） 令和７年５月２３日（金）午後２時から午後３時（戸田市）
参　加　者	管内市福祉保健職員　７名（蕨市） １２名（戸田市）
内　　容	情報交換及び意見交換 （１）今年度の体制・事業計画について （２）自殺、ひきこもり課題について （３）精神保健相談（最近の傾向、困難ケース等）について

（４）ひきこもり対策事業（根拠法令：精神保健福祉法第２条、４６条）

ひきこもり事例検討会

ひきこもりに関わる支援者の相談技術の向上及び支援機関の連携強化を図ることを目的に事例検討会を実施しています。

名　　称	ひきこもり事例検討会 ～教育分野との連携と各機関の強みを活かした支援について考える～
実　施　日	令和７年１１月５日（水）午後３時から午後５時
参　加　者	管内関係機関職員　２３名
内　　容	事例検討会 （１）グループワーク「１０代のひきこもり事例」 （２）講義「１０代のひきこもり支援にポイントについて」 講師　菊池臨床心理オフィス　菊池　礼子氏

（５）精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業

（根拠法令：精神保健福祉法第２条、４６条）

ア　精神障害者地域支援体制構築事業実務担当者会議

管内関係機関の精神障害者への支援状況について共有・整理を行うとともに、精神障害にも対応した地域包括ケアステムの構築促進を図るため、実務担当者の会議を実施しています。

実　施　日	第１回　令和７年８月６日（水）午後３時から午後４時３０分
参　加　者	管内関係機関職員　１９名 （障害、保健、生活保護関係職員、相談支援事業所職員等）

内　　容	グループワーク テーマ 当所管内の精神障害者を支える体制について、強みや課題を考える。 （１）メンタルヘルスに課題を抱える人への支援について、所属の強みと課題について （２）関係機関との連携について（関係が良好で助かっている点・期待している点） （３）（１）（２）から考えられる課題解決に向けて取り組みたいこと

実　施　日	第２回　令和８年２月２５日（水）午後３時から午後４時３０分
参　加　者	管内関係職員　２１名 （障害、保健、生活保護関係職員、相談支援事業所職員等）
内　　容	グループワーク テーマ「理想の地域にするには」 自分たちの分野で取り組めていること、もっと力を入れたいこと

イ　精神障害者地域支援体制構築会議

管内関係機関の精神障害者の地域生活支援・地域移行に関する取り組み状況や課題等の共有と意見交換を行い、管内の精神保健福祉及び医療の連携促進を図るための会議を実施しています。

実　施　日	令和８年１月２９日（木）午後２時から午後４時
参　加　者	管内関係機関の長　２６名 （理事長、病院長、保健センター長、管内市関係各課長、相談支援事業所長等）
内　　容	（１）埼玉県における精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業について（埼玉県・障害者福祉推進課職員） （２）南部保健所の精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築事業について （３）質疑応答・意見交換

ウ　精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進研修

メンタルヘルスに課題を抱えている人たちが、地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう関係機関がお互いの役割と機能を理解し、連携強化を図るために研修会を実施しています。

実　施　日	令和７年１２月１２日（金）午後２時から午後３時３０分
参　加　者	管内関係職員　３３名 （障害、保健、高齢、生活保護関係職員、相談支援事業所職員等）

内　　容	（１）地域を支える保健分野の強みとは～南部保健所の取り組み～ 埼玉県南部保健所　保健予防推進担当　担当部長　後藤　盛聡 （２）グループワーク（事例検討） テーマ「生きづらさをどう支えるか」 ～関係機関の強みを活用した支援のあり方とは～

（６）埼玉県措置入院者退院後支援事業（根拠法令：精神保健福祉法第２条、４６条）

精神障害者支援地域協議会代表者会議

措置入院制度の運用、措置入院者の退院後の支援体制、医療機関及び関係機関の役割分担並びに地域における課題等について検討することを目的に会議を実施しています。

実　施　日	令和８年１月２９日（木）午後２時から午後４時
参　加　者	管内関係機関の長　２６名 （理事長、病院長、保健センター長、管内市関係各課長、 相談支援事業所長、各警察署生活安全課長等）
内　　容	（１）埼玉県における措置入院の現状及び精神保健福祉法改正の動向について （２）埼玉県及び南部保健所における休日・夜間の精神科救急の現状と課題について （３）南部保健所の措置入院関係の対応状況について （４）川口市保健所の措置入院者退院後の支援状況について （５）質疑応答・意見交換

１０　現任教育

（１）県・市町村保健師連絡調整会議地域別会議

県・市町村の管理的立場にある保健師を対象に、組織的・計画的・継続的に保健師の人材育成に取り組み、現任教育体制の整備・充実を図ることを目的として会議を開催しています。

日　　時	内　　容	人数
【第１回】 令和７年５月15日(木) 午後１時30分から 午後３時	（１）保健師現任教育についての情報交換及び実施計画の検討 （２）各所属における保健師配置状況、現任教育の現状と課題 （３）令和７年度保健師現任教育研修について （４）令和６年度第２回管理期保健師研修復命	６名
【第２回】 令和８年３月18日(水) 午後１時30分から 午後３時30分	（１）令和８年度現任教育の課題整理 （２）令和７年度南部保健所現任教育実施報告 （３）令和８年度現任教育計画について （４）公衆衛生看護研修（中堅期）復命	７名

（２）新任期保健師研修

南部・朝霞保健所管内の概ね採用５年目までの保健師を対象にＰＤＣＡ理論が日頃の活動と連動し、保健活動の実践に活かすことを目的として開催しています。

日　　時	内　　容	人数
令和７年10月９日（木） 午後１時30分から 午後４時30分	事業評価（相談対応研修） （１）講義　「インテークの基本」～想像と創造～ 講師　菊池臨床心理オフィス　菊池 礼子　氏 （２）個人ワーク及びグループワーク （３）発表と講評	２１名

（３）災害時健康管理研修

南部・朝霞保健所管内及び川口市の中堅期の保健師以上を対象に発災時、災害に応じた保健活動の知識及び実践の理解と近隣保健師間の交流を目的として開催しています。

日　　時	内　　容	人数
令和７年 11 月７日（金） 午後１時 30 分から 午後４時 15 分	（１）報告「令和元年台風 19 号による水害を経験して」 ～実態からの学び、備え～ 坂戸市立市民健康センター　所長　有田 さおり　氏 （２）講義「避難所での感染症対策」～浸水被害での感染症対策～ 国際医療福祉大学大学院　教授　坂木　晴世　氏 （３）演習・発表 （４）講評及び質疑応答	３３名

（４）管理期保健師情報共有会（南部保健医療圏）

令和７年度、新たに南部保健医療圏（蕨市、戸田市、川口市、南部保健所）管理期保健師情報共有会を開催しました。統括的立場の保健師が日頃から連携を強化することで、行政機関として災害時の協働が円滑に行われるために必要なことを話し合いました。

日　　時	内　　容	人数
【第１回】 令和７年５月 15 日（木） 午後３時 30 分から 午後５時	（１）情報共有会の目的について （２）各所属において有事に備え情報共有したいこと （３）情報交換	８名
【第２回】 令和８年１月 22 日（水） 午後１時 30 分から 午後３時 30 分	（１）川口市における災害時保健活動マニュアル策定状況について 川口市保健所　管理課　主幹　飯盛　年子　氏 （２）熊谷保健所管内市町における災害時保健活動マニュアル策定状況及び災害時の受援に備えた地区診断等について 熊谷保健所　担当部長　町田　紀恵　氏 （３）情報交換 （４）情報提供 ・令和７年度埼玉県災害時保健所保健医療調整機能強化研修復命 ・保健医療福祉活動支援システム（Ｄ２４Ｈ）について	１６名

（５）ブラッシュアップ研修

令和６年度から管内中堅期保健師の人材育成を目的に母子保健ケース共有を主としたブラッシュアップ研修が始まりました。

令和７年度は新任期×中堅期保健師ブラッシュアップ研修として内容と対象を拡充、会場と当日のファシリテーターを持ち回りにする等の工夫を行い管内保健師同士のつながりを深め保健活動に必要な技術を高める研修を行いました。

日　　時	内　　容	人数
【キックオフ】 令和7年5月12日（月） 午後3時から午後3時30分	オンライン 顔合わせ／テーマ決め	１０名
【第1回】 令和7年8月26日（水） 午後3時から午後4時	会場：蕨市保健センター（司会：南部保健所・書記：蕨市） 連携が上手くいった事例	１０名
【第2回】 令和7年11月28日（木） 午後3時から午後4時	会場：戸田市福祉保健センター（司会・書記：戸田市） 介入困難かつ驚いた事例	１０名
【第3回】 令和8年2月27日（水） 午後3時から午後4時	会場：南部保健所（司会：蕨市・書記：南部保健所） 受診が困難だった事例	９名

Ⅳ　生活衛生・薬事担当

１　食品衛生

食品の安全の確保を図るため、営業者に対して施設の衛生管理、食品の適正な取扱い及び自主検査の励行などの指導を実施しました。また、県民に対して食中毒予防の啓発に努めました。なお、令和３年６月１日付けで食品衛生法が改正され、業種の再編が行われています。

（１）業種別施設数・処理件数

ア　食品衛生法（改正前：令和３年５月３１日まで）に基づく許可施設数

施設数は令和８年３月３１日現在

区　　分	施設数		
	計	蕨　市	戸田市
合　　計	４２５	１７８	２４７
飲食店営業	３００	１２８	１７２
喫茶店営業	２７	１２	１５
菓子製造業	２２	１２	１０
あん類製造業	０	０	０
アイスクリーム類製造業	１	０	１
乳処理業	１	０	１
特別牛乳搾取処理業	０	０	０
乳製品製造業	２	０	２
集乳業	０	０	０
乳類販売業	２３	６	１７
食肉処理業	１	０	１
食肉販売業	２３	９	１４
食肉製品製造業	０	０	０
魚介類販売業	１５	８	７
魚介類競り売営業	０	０	０
魚肉ねり製品製造業	０	０	０
食品の冷凍又は冷蔵業	３	０	３
食品の放射線照射業	０	０	０
清涼飲料水製造業	１	０	１
乳酸菌飲料製造業	１	０	１
氷雪製造業	０	０	０
氷雪販売業	０	０	０
食用油脂製造業	０	０	０
マーガリン又はショートニング製造業	０	０	０
みそ製造業	０	０	０
醤油製造業	０	０	０
ソース類製造業	０	０	０
酒類製造業	０	０	０
豆腐製造業	１	１	０
納豆製造業	０	０	０
めん類製造業	３	１	２
そうざい製造業	１	１	０
かん詰又はびん詰食品製造業	０	０	０
添加物製造業	０	０	０

イ　食品衛生法（改正後：令和３年６月１日以降）に基づく許可施設数

施設数は令和８年３月３１日現在

区　　分	施　設　数			処　理　件　数		
	計	蕨　市	戸 田 市	新規	継続	廃業
合　　計	１６５０	５７１	１０７９	１６２	１７３	５４
飲食店営業	１３６０	４８９	８７１	１４３	１４５	４６
調理の機能を有する自動販売機営業	１５	１０	５	４	０	０
食肉販売業	４１	１４	２７	３	７	２
魚介類販売業	３１	１０	２１	１	３	１
魚介類競り売り営業	０	０	０	０	０	０
集乳業	０	０	０	０	０	０
乳処理業	０	０	０	０	０	０
特別牛乳搾取処理業	０	０	０	０	０	０
食肉処理業	７	１	６	０	０	０
食品の放射線照射業	０	０	０	０	０	０
菓子製造業	１０３	３１	７２	９	１４	２
アイスクリーム類製造業	１	０	１	０	０	０
乳製品製造業	０	０	０	０	０	０
清涼飲料水製造業	２	０	２	０	０	０
食肉製品製造業	６	０	６	０	０	０
水産製品製造業	２	０	２	０	０	０
氷雪製造業	２	２	０	０	０	０
液卵製造業	０	０	０	０	０	０
食用油脂製造業	１	０	１	０	０	０
みそ又はしょうゆ製造業	２	０	２	０	０	０
酒類製造業	１	１	０	０	０	０
豆腐製造業	０	０	０	０	０	０
納豆製造業	０	０	０	０	０	０
麺類製造業	８	２	６	０	２	０
そうざい製造業	３９	１０	２９	２	１	１
複合型そうざい製造業	３	０	３	０	０	０
冷凍食品製造業	６	０	６	０	１	１
複合型冷凍食品製造業	１	０	１	０	０	０
漬物製造業	４	１	３	１	０	０
密封包装食品製造業	１	０	１	０	０	１
食品の小分け業	１２	０	１２	１	０	０
添加物製造業	２	０	２	０	０	０

ウ　食品衛生法（改正後：令和３年６月１日以降）に基づく届出施設数

施設数は令和８年３月３１日現在

区　　分	施　設　数			届　出　数	
	計	蕨　市	戸 田 市	新規	廃業
合　　計	１１９８	３２４	８７４	１５２	２８
魚介類販売業（包装魚介類のみ）	１８	７	１１	０	０
食肉販売業（包装食肉のみ）	２９	１０	１９	６	１
乳類販売業	４６	１２	３４	４	１
氷雪販売業	１	０	１	０	０
コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）	１７７	４６	１３１	１５	４
弁当販売業	８	２	６	１	０
野菜果物販売業	３５	１３	２２	１	１
米穀類販売業	１０	４	６	０	０
通信販売・訪問販売による販売業	３	０	３	２	０
コンビニエンスストア	１０７	３２	７５	７	５
百貨店、総合スーパー	５３	２３	３０	４	１
自動販売機による販売業（コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）を除く）	１１７	３０	８７	１３	４
その他の食料・飲料販売業	４０５	１０９	２９６	３９	７
添加物製造・加工業（法第13条第1項の規定により規格が定められた添加物の製造を除く。）	０	０	０	０	０
いわゆる健康食品の製造・加工業	０	０	０	２	０
コーヒー製造・加工業（飲料の製造を除く。）	１４	２	１２	６	１
農産保存食料品製造・加工業	３	１	２	０	０
調味料製造・加工業	９	３	６	０	０
糖類製造・加工業	０	０	０	０	０
精穀・製粉業	１	１	０	０	０
製茶業	２	１	１	０	０
海藻製造・加工業	１	０	１	０	０
卵選別包装業	０	０	０	０	０
その他の食料品製造・加工業	２３	６	１７	１	１
行商	１４	２	１２	４	０
集団給食施設	９３	１９	７４	５	２
器具、容器包装の製造・加工業（合成樹脂の使用された器具又は容器包装の製造、加工に限る。）	１４	０	１４	０	０
露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの	１	１	０	０	０
その他	１４	０	１４	２	０

（２）講習会等実施状況

令和７年度は、合計１５回、２８５人に食品衛生講習を実施しました。

令和７年度

名　　称	開　催　回　数	参　加　人　数
食品従事者研修	１４回	１９６人
食品衛生実務講習会	１回	８９人
一般県民向け講習会	０回	０人

（３）食中毒等発生状況

令和７年度に、南部保健所管内で発生した食中毒事故は０件、患者数０人でした。

また、県内・外において発生した食中毒等に関連して行った調査は１４件で、調査対象数は患者等１３人、施設５件でした。

（４）食品関連苦情受付状況

令和７年度は、９９件の苦情・相談を受付けました。

令和７年度　　単位：件

内容	有症	衛生管理	異物	虫	腐敗・変敗	表示	異味異臭	その他	合計
件数	４５	５	１４	４	０	０	０	３１	９９

（５）食中毒予防啓発事業（広報等への記事掲載を依頼）

食中毒シーズンを前に管内市広報や管内興行場の広告媒体へ食中毒予防に関する啓発記事の掲載を依頼しました。

掲　載　市　戸田市

掲載広報　広報戸田市（令和７年８月号、令和７年１２月号）

掲載興行場　戸田競艇企業団（掲載媒体：大型映像装置、出走表）

２　動物指導

飼い犬の登録及び狂犬病予防注射の実施徹底を図るとともに、犬の正しい飼い方や動物愛護などの普及啓発を行いました。

また、動物取扱業等の施設に対し、立ち入り指導を実施しました。

（１）登録・狂犬病予防注射頭数・狂犬病予防注射接種率

令和７年度　　単位：頭

区　　分	登　録　頭　数	注射済票交付数	接種率
計	８，５６０	５，５３０	６４．６%
蕨　　市	２，７６７	１，６４７	５９．５%
戸　田　市	５，７９３	３，８８３	６７．０%

※ 犬の登録及び注射済票交付については、各市において実施している。

（２）犬の苦情・相談件数

令和７年度　　単位：件

区　分	計	苦　情　・　相　談　内　訳						
		捕　獲	引取り	放し飼い	咬傷事故	糞　尿	鳴き声	その他
計	１４０	１８	９	１	１２	２	２３	７５
蕨　市	４３	４	５	１	３	１	８	２１
戸田市	７１	１３	４	０	９	１	１４	３０
その他	２６	１	０	０	０	０	１	２４

（３）犬の収容業務状況

令和７年度　　単位：頭

区 分	抑留犬・収容犬の頭数			処　分　頭　数			
	計	内　訳		計	内　訳		
		捕　獲 収　容	飼い主から 引取り		飼い主 へ返還	引取り 申請取下	動物指導 ｾﾝﾀｰ送致
計	９	８	１	９	６	０	３
蕨　市	３	２	１	３	２	０	１
戸田市	６	６	０	６	４	０	２
管轄外	０	０	０	０	０	０	０

（４）犬の咬傷事故件数

令和７年度

区　　分	咬傷事故件数	咬傷犬頭数	被咬傷者数（死者数）
計	５件	５頭	５人（０人）
蕨　　市	１件	１頭	１人（０人）
戸 田 市	４件	４頭	４人（０人）

（５）第一種動物取扱業の登録件数

令和８年３月３１日現在　　単位：件

区　分	施設数	登　録 業種計	登　録　業　種　内　訳						
			販 売	保 管	貸出し	訓 練	展 示	競 り あっせん	譲 受 飼 養
計	７９	１０８	３０	５９	３	１３	３	０	０
蕨　市	２５	３１	６	２０	０	４	１	０	０
戸田市	５４	７７	２４	３９	３	９	２	０	０

（６）第二種動物取扱業の届出件数

令和８年３月３１日現在　　単位：件

区　分	施設数	届　出 業種計	届　出　業　種　内　訳				
			譲渡し	保　管	貸出し	訓　練	展　示
計	２	３	１	１	０	０	１
蕨　市	２	３	１	１	０	０	１
戸田市	０	０	０	０	０	０	０

（７）特定動物の飼養許可件数

令和８年３月３１日現在　　単位：件

区　　分	施設数	飼養許可件数	飼養目的	動 物 の 種 類
計	１	１		
蕨　　市	０	０	―	―
戸　田　市	１	１	特定目的以外の目的（愛玩）	ワニガメ

（８）動物の多頭飼育の届出件数

令和８年３月３１日現在　　単位：件

区　　分	施　設　数	犬のみを飼育	猫のみを飼育	犬と猫を飼育
計	１	０	１	０
蕨　　市	０	０	０	０
戸　田　市	１	０	１	０

3　環境衛生

（1）環境衛生関係施設数及び監視指導件数

環境衛生関係の営業施設の多くは、住民の日常生活に密着したサービスを供するものであり、その衛生的な環境の確保は特に重要です。そこで、法令等に定められた衛生基準の適合状況について審査して施設の確認及び許可を行い、その後も継続した監視指導を実施しました。

令和７年度　単位：件

		令和８年３月３１日現在施設数			許　可 又は 届出数	廃止数	監　視 指導数
		計	蕨　市	戸田市			
計		587	231	356	18	26	165
営業関係施設	計	518	209	309	14	24	152
	理　容　所	131	54	77	0	1	45
	美　容　所	283	117	166	9	10	64
	クリーニング所	56	20	36	2	12	16
	旅　　館	24	8	16	3	1	8
	公衆浴場(一般)	5	2	3	0	0	2
	（その他）	13	5	8	0	0	16
	興　行　場	6	3	3	0	0	1
特定建築物	計	60	18	42	4	2	1
	特定建築物	40	14	26	1	0	0
	登録営業所	20	4	16	3	2	1
プール	計	9	4	5	0	0	12
	公　　営	3	1	2	0	0	6
	民　　営	6	3	3	0	0	6

※ 公衆浴場のその他には、サウナ、保養休養等の施設を含む。

（2）水質検査実施状況

住民から依頼を受けて、埼玉県衛生研究所で検査を実施しました。

令和７年度　単位：件

		検査件数	適　合	不適合
計		7	4	3
飲料水	上　水　道	3	3	0
	専　用　水　道	0	0	0
	簡易専用水道	0	0	0
	その他の水道	0	0	0
	井　　水	4	1	3

（3）衛生害虫等による住居衛生苦情・相談件数

住居にいる害虫等生活環境に係る苦情や相談に対応しました。

令和７年度　単位：件

	ｼｯｸﾊｳｽ	ネズミ	ハ　チ	ダ　ニ	ﾁｬﾀﾃﾑｼ	ﾕｽﾘｶ	ア　リ	蚊	ｼﾊﾞﾝﾑｼ	その他	合　計
件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1

４　薬事衛生

医薬品の品質、有効性及び安全性を確保するため、医薬品医療機器等法に基づき薬局等の監視指導を行いました。また、毒物・劇物及び麻薬などの取扱いについても、保健衛生上の危害を防止するため、指導取締りを行いました。

（１）薬事関係施設数及び監視件数　　令和７年度　　単位：件

業　　種	令和8年3月31日現在施設数			新規申請	更新申請	廃止届	監視件数
	管内計	蕨　市	戸田市				
計	５９３	２２９	３６４	２８	１８	２１	６８
薬　　局	９３	３８	５５	６	８	４	４０
薬局製造業	４	４	０	０	０	０	０
薬局製造販売業	４	４	０	０	０	０	０
店舗販売業	４４	１９	２５	１	２	１	２
卸売販売業	１８	５	１３	２	０	１	１
再生医療等製品販売業	０	０	０	０	０	０	０
高度管理医療機器販売業・貸与業	１２１	５１	７０	９	８	８	４
管理医療機器販売業・貸与業	３０９	１０８	２０１	１０	－	７	１

（２）毒物・劇物営業者数

	令和８年３月３１日現在施設数				新規申請	更新申請	廃止届	監視件数
	管内計	蕨 市	戸田市	川口市				
計	１１１	２４	６１	２６	１	９	１	１２
製造業	２４	３	７	１４	０	５	０	４
輸入業	６	０	３	３	０	１	０	１
一般販売業	５６	１７	３９	－	０	３	１	６
農業用品目販売業	３	１	２	－	０	０	０	０
特定品目販売業	１	０	１	－	０	０	０	０
電気めっき事業	５	２	３	－	０	－	０	０
金属熱処理事業	０	０	０	－	０	－	０	０
毒物劇物運送業	１	０	１	－	１	－	０	１
特定毒物研究者	１５	１	５	９	０	－	０	０

（３）麻薬等取扱者数

		令和８年３月３１日現在 取扱者数（人）	令和７年度 申請件数（件）
計		１，５１６	７５３
麻　薬	施　用　者	１，１３５	５７８
	管　理　者	１０１	４５
	小 売 業 者	２８０	１３０

（４）献血状況　　令和７年度

	目標人数（人）	献血者数（人）	達成率（%）
計	２，０８４	１，５３３	７３．６
蕨　　市	９１５	６３８	６９．７
戸　田　市	１，１８９	８９５	７５．３

（５）薬物乱用防止対策

南部保健所と南部保健所管内薬物乱用防止指導員協議会は、協働して薬物乱用防止対策事業を実施しました。

◎啓発活動

・不正大麻・けし撲滅運動　：　令和７年５月１日　～　６月３０日
・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動　：　令和７年６月２０日　～　７月１９日
・麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動　：　令和７年１０月１日　～　１１月３０日
・学校等における講習会等の実施　：　７校　受講者　２，７７４名

Ⅴ　食品監視担当

埼玉県では、南部保健所（平成２９年度まで川口保健所）、春日部保健所、狭山保健所及び熊谷保健所の４か所に食品監視担当を設置し、食中毒事故の発生と違反食品の製造・流通を未然に防止するため、監視指導や収去検査を行っています。

当所は、当所及び朝霞保健所の２保健所管内の８市１町（平成２９年度までは９市１町）を所管し、令和７年度において延べ１，０５４件の監視指導及び１０回の衛生講習会（受講者４２５人）を実施し、食品に起因する事故防止に努めました。

埼玉県食品衛生監視指導計画に基づき、ＨＡＣＣＰに沿った衛生管理の運用状況の確認及び支援を行いました。また、ＨＡＣＣＰの概念に基づく自主衛生管理の普及に努めるとともに、広域に流通する食品を製造する大規模施設や大量調理施設の監視指導並びにノロウイルス及びカンピロバクターによる食中毒の防止を目的とした小規模保育施設や生食用食肉等を提供する施設等の監視指導を重点的に実施しました。

１　食品監視担当業務概況

令和７年度

		計	南部保健所 管　内	朝霞保健所 管　内
監視対象施設数		１２，３４０	３，３８１	８，９５９
監視等	監視業種数	１，０５４	２９９	７５５
	違反食品発見数	１	０	１
収去等	収去等検査検体数（延べ数）	９７	１８	７９
	不適件数	０	０	０
通報・届出等による違反等の処理数		４４	２６	１８
行政処分等	行政処分	０	０	０
	報告書等	８	５	３
	その他の措置 （報告書等を再掲）	４４	２６	１８
食中毒調査協力	出動日数	０	０	０
	出動人員	０	０	０

２　収去検査の概要

管内で製造、生産及び流通する食品について、収去検査及び買上げ検査（スクリーニング）を行った。
（検査機関：埼玉県衛生研究所、埼玉県食肉衛生検査センター）

令和７年度

検査項目	国産品		輸入品		合計	
	検体数	不適件数	検体数	不適件数	検体数	不適件数
微生物（計）	４０	０	０	０	４０	０
規格基準	３２	０	０	０	３２	０
自主検査	８	０	０	０	８	０
残留農薬(計)	１３	０	４	０	１７	０
県内産野菜	３	０			３	０
県内産野菜（スクリーニング）	１０	０			１０	０
輸入野菜			４	０	４	０
食品添加物	１２	０	８	０	２０	０
動物用医薬品	１０	０	６	０	１６	０
アレルギー物質	３	０	０	０	３	０
その他	１	０	０	０	１	０
計（延べ数）	７９	０	１８	０	９７	０

３　違反食品等発見処理状況

令和７年度

			発見・通報・届出数	違反理由等									行政処分等																
				食品衛生法違反							食品表示法違反	その他	合計	行政処分								報告書等			その他			合計
				第６条	第10条	第13条	第19条第２項	第50条第２項	その他	計				営業許可の取消	営業の禁停止	食品等の廃棄	食品等の返品	食品等の回収	食品等移動停止	その他	計	報告書等	口頭説諭	計	調査指導依頼	現地調査指導等	計	
合　計			44	18	－	13	－	－	－	31	10	3	44	－	－	－	－	－	－	－	－	8	－	8	－	36	36	44
担当内発見	監視等	管内製品	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	1
		管外製品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		県外製品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	収去等	管内製品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		管外製品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		県外製品	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計		1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	-	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	1
通報届出	管内		19	11	－	－	－	－	－	11	5	3	19	－	－	－	－	－	－	－	－	5	－	5	－	14	14	19
	管外		2	1	－	1	－	－	－	2	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	2	2
	県外		22	6	－	12	－	－	－	18	4	－	22	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	3	－	19	19	22
	計		43	18	－	13	－	－	－	31	9	3	43	－	－	－	－	－	－	－	－	8	－	8	－	35	35	43

注：１　違反疑いとして調査した件数を含む。
　　２　「違反理由等」又は「行政処分」において、同一施設で、違反理由又は行政処分が重複した場合は、すべて計上した。
　　３　「行政処分等」において、同一施設で、「行政処分」と「行政処分」以外が重複した場合は、行政処分だけを計上した。
　　４　「行政処分等」において、同一施設で、「行政処分」以外の処理項目が重複した場合は、上位一つを計上した。

第３部　南部保健所管内の人口動態統計

当所管内の人口動態について、次頁以降に各統計表を記載しました。統計表についての用語等は下記のとおりです。

〈第３部の統計表の比率について〉

①出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率 ＝ $\frac{\text{年間の件数}}{\text{人口}}$ × １，０００

※ ①に使用したデータは次のとおりです。

全国及び県 …「令和６年人口動態統計（確定数）の概況」（厚生労働省）

管内及び市 …「令和６年埼玉県の人口動態概況」（埼玉県保健医療部保健医療政策課）

②乳児死亡率・新生児死亡率 ＝ $\frac{\text{乳児・新生児死亡数}}{\text{出生数}}$ × １，０００

※ 乳児死亡：生後１年未満の死亡 ／ 新生児死亡：生後４週（２８日）未満の死亡

③周産期死亡率 ＝ $\frac{\text{妊娠満２２週以後の死産数＋早期新生児（生後１週未満）死亡数}}{\text{出産(出生＋妊娠満２２週以後の死産)数}}$ × １，０００

④死産率（自然死産率・人工死産率） ＝ $\frac{\text{死産（自然・人工）数}}{\text{出産（出生＋死産）数}}$ × １，０００

※ 死産：妊娠１２週（第４月）以後の死児の出産

〈第３部の統計表の表章記号〉

－　計数のない場合

…　計数が不明または計数を表章することが不適切な場合。統計項目のあり得ない場合。

0.0　計数が微少（0.05 未満）の場合

△　減

〈第３部の資料出典〉

第１～８表：「令和６年埼玉県保健統計年報・統計資料」（埼玉県保健医療部保健医療政策課）

第９表：「埼玉県の合計特殊出生率」（同上）

第１０表：国勢調査年（令和７年）は「国勢調査」（総務省統計局）

それ以外の年は「埼玉県の推計人口」（埼玉県総務部統計課）

第１表　令和６年人口動態総覧

単位：出生・死亡：人、死産：胎、婚姻・離婚：件、率：％

区　　分		全　国	埼玉県	管　内	蕨　市	戸田市
出　生	実数	６８６，１７３	３９，９５６	１，３７３	３７０	１，００３
	率	５．７	５．６	６．３	４．９	７．１
死　亡	実数	１，６０５，３７８	８６，３８３	１，８９６	７７２	１，１２４
	率	１３．３	１２．２	８．７	１０．３	７．９
自然増減	実数	△９１９，２０５	△４６，４２７	△５２３	△４０２	△１２１
	率	△７．６	△６．６	△２．４	△５．４	△０．９
乳児死亡	実数	１，２６６	５７	２	－	２
	率	１．８	１．４	１．５	－	２．０
新生児死亡	実数	６３７	２１	－	－	－
	率	０．９	０．５	－	－	－
死　産	実数	１５，３２３	１，００５	３９	１３	２６
	率	２１．８	２４．５	２７．６	３３．９	２５．３
自然死産	実数	６，８４９	４２７	２１	１０	１１
人工死産	実数	８，４７４	５７８	１８	３	１５
周産期死亡	実数	２，２８５	１３９	４	２	２
	率	３．３	３．５	２．９	５．４	２．０
妊娠満22週以後の死産	実数	１，８００	１２４	４	２	２
早期新生児死亡	実数	４８５	１５	－	－	－
婚　姻	実数	４８５，０９２	２８，２５０	１，２１０	４１８	７９２
	率	４．０	４．０	５．６	５．６	５．６
離　婚	実数	１８５，９０４	１０，５６２	３４９	１００	２４９
	率	１．５５	１．４９	１．６１	１．３３	１．７５

第２表　出生数及び出生率（人口千対）の年次推移

単位：実数（人）、率（%）

年次	全　国		埼玉県		管　内		蕨　市		戸田市	
	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率
H30	918,400	7.4	51,241	7.1	1,787	8.3	465	6.2	1,322	9.4
R1	865,239	7.0	48,298	6.7	1,714	7.9	470	6.3	1,244	8.8
R2	840,835	6.8	47,328	6.6	1,697	8.5	492	8.5	1,205	9.2
R3	811,622	6.6	45,424	6.4	1,527	7.1	393	5.3	1,135	8.0
R4	770,759	6.3	43,451	6.1	1,497	6.9	440	6.0	1,057	7.4
R5	727,288	6.0	42,108	5.9	1,455	6.7	405	5.5	1,050	7.4
R6	686,173	5.7	39,956	5.6	1,373	6.3	370	4.9	1,003	7.1

第３表　死亡数及び死亡率（人口千対）の年次推移

単位：実数（人）、率（%）

年次	全　国		埼玉県		管　内		蕨　市		戸田市	
	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率
H30	1,362,470	11.0	67,726	9.4	1,540	7.2	665	8.9	875	6.2
R1	1,381,093	11.2	69,537	9.7	1,594	7.4	686	9.1	908	6.4
R2	1,372,755	11.1	70,758	9.9	1,646	8.3	701	10.4	945	7.2
R3	1,439,856	11.7	75,164	9.0	1,743	8.1	720	9.7	1,023	7.2
R4	1,569,050	12.9	82,221	11.5	1,917	8.9	809	10.9	1,108	7.8
R5	1,576,016	13.0	83,597	11.8	1,963	9.1	801	10.8	1,162	8.2
R6	1,605,378	13.3	86,383	12.2	1,896	8.7	772	10.3	1,124	7.9

第４表 乳児死亡数及び乳児死亡率（出生千対）の年次推移

単位：実数（人）、率（%）

年次	全　国		埼玉県		管　内		蕨　市		戸田市	
	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率
H30	1,748	1.9	89	1.7	2	1.1	－	－	2	1.5
R1	1,654	1.9	88	1.8	2	1.2	－	－	2	1.6
R2	1,512	1.8	75	1.6	5	2.9	2	4	3	2.5
R3	1,399	1.7	62	1.4	－	－	－	－	－	－
R4	1,356	1.8	67	1.5	2	1.3	1	2.3	1	0.9
R5	1,326	1.8	69	1.6	3	2.1	1	2.5	2	1.9
R6	1,266	1.8	57	1.4	2	1.5	－	－	2	2.0

第５表　死産数及び死産率（出産千対）の年次推移

単位：実数（人）、率（%）

年次	全　国		埼玉県		管　内		蕨　市		戸田市	
	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率
H30	19,614	20.9	1,130	21.6	41	22.4	17	35.3	24	17.8
R1	19,454	22.0	1,123	22.7	34	19.5	13	26.9	21	16.6
R2	17,278	20.1	1,012	20.9	29	16.8	11	21.9	18	14.7
R3	16,277	19.7	929	20.0	21	13.6	7	17.5	14	12.2
R4	15,179	19.3	900	20.3	35	22.8	18	39.3	17	15.8
R5	15,534	20.9	955	22.2	36	24.1	13	31.1	23	21.4
R6	15,323	21.8	1,005	24.5	39	27.6	13	33.9	26	25.3

第６表　婚姻数及び婚姻率（人口千対）の年次推移

年次	全　国		埼 玉 県		管　内		蕨　市		戸 田 市	
	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率
H30	586,481	4.7	32,745	4.6	1,270	5.9	433	5.8	837	5.9
R1	599,007	4.8	33,671	4.7	1,339	6.2	451	6.0	888	6.3
R2	525,507	4.3	29,260	4.1	1,134	5.7	388	5.7	746	5.7
R3	501,138	4.1	28,345	4.0	1,137	5.3	374	5.0	763	5.4
R4	504,930	4.1	28,823	4.0	1,250	5.8	403	5.5	847	6.0
R5	474,741	3.9	27,531	3.9	1,189	5.5	397	5.4	792	5.6
R6	485,092	4.0	28,250	4.0	1,210	5.6	418	5.6	792	5.6

第７表　離婚数及び離婚率（人口千対）の年次推移

年次	全　国		埼 玉 県		管　内		蕨　市		戸 田 市	
	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率	実　数	率
H30	208,333	1.68	11,716	1.63	376	1.75	110	1.48	266	1.89
R1	208,496	1.69	12,067	1.68	381	1.76	112	1.49	269	1.90
R2	193,253	1.57	10,659	1.49	301	1.51	92	1.36	209	1.59
R3	184,384	1.50	10,626	1.49	335	1.55	101	1.36	234	1.66
R4	179,099	1.47	10,259	1.44	349	1.62	100	1.35	249	1.75
R5	183,814	1.52	10,697	1.50	338	1.56	100	1.35	238	1.67
R6	185,904	1.55	10,562	1.49	349	1.61	100	1.33	249	1.75

第８表　令和６年死因別順位別死亡数、死亡率（上位５位　死亡率は人口１０万対）

(1) 総数

順位	全　　国	埼 玉 県	管　　内	蕨　　市	戸　田　市
（全死因）	1,605,378	86,383	1,896	772	1,124
１位	悪性新生物 384,111 (319.3)	悪性新生物 21,104 (298.0)	悪性新生物 489 (227.8)	悪性新生物 191 (252.9)	悪性新生物 298 (214.1)
２位	心疾患 （高血圧性を除く） 226,388 (188.2)	心疾患 （高血圧性除く） 12,035 (169.9)	老衰 247 (115.1)	老衰 104 (137.7)	老衰 143 (102.8)
３位	老　衰 206,887 (172.0)	老　衰 10,507 (148.3)	心疾患 （高血圧性除く） 228 (106.2)	心疾患 （高血圧性除く） 101 (133.8)	心疾患 （高血圧性除く） 127 (91.3)
４位	脳血管疾患 102,821 (85.5)	肺　　炎 5,174 (73.0)	肺　　炎 116 (54.0)	肺炎 49 (64.9)	肺　　炎 67 (48.1)
５位	肺　　炎 80,176 (66.6)	脳血管疾患 5,108 (72.1)	脳血管疾患 102 (47.5)	脳血管疾患 46 (60.9)	脳血管疾患 56 (40.2)

(2)　男

順位	全　　国	埼 玉 県	管　　内	蕨　　市	戸　田　市
（全死因）	819,709	46,607	976	410	566
１位	悪性新生物 221,786 (375.8)	悪性新生物 12,417 (377.9)	悪性新生物 278 (259.4)	悪性新生物 106 (277.5)	悪性新生物 172 (249.4)
２位	心疾患 （高血圧性を除く） 111,425 (192.1)	心疾患 （高血圧性除く） 6,314 (192.2)	心疾患 （高血圧性除く） 111 (103.6)	心疾患 （高血圧性除く） 57 (149.2)	心疾患 （高血圧性除く） 54 (78.3)
３位	老　衰 58,793 (90.4)	老　衰 3,310 (100.7)	老　衰 76 (70.9)	老　衰 39 (102.1)	肺　　炎 39 (56.5)
４位	脳血管疾患 51,764 (87.7)	肺　　炎 3,182 (96.8)	肺　　炎 67 (62.5)	肺　　炎 28 (73.3)	老衰 37 (53.6)
５位	肺　　炎 46,529 (73.9)	脳血管疾患 2,658 (80.9)	脳血管疾患 58 (54.1)	脳血管疾患 26 (68.1)	脳血管疾患 32 (46.4)

(3)　女

順位	全　　国	埼 玉 県	管　　内	蕨　　市	戸　田　市
（全死因）	785,669	39,776	920	362	558
１位	悪性新生物 162,325 (258.7)	悪性新生物 8,687 (264.4)	悪性新生物 211 (196.3)	悪性新生物 85 (227.8)	悪性新生物 126 (179.5)
２位	老　衰 148,094 (219.4)	老　衰 7,197 (219.0)	老　衰 171 (159.0)	老　衰 65 (174.2)	老　衰 106 (151.0)
３位	心疾患 （高血圧性除く） 114,963 (189.5)	心疾患 （高血圧性除く） 5,721 (174.1)	心疾患 （高血圧性除く） 117 (108.8)	心疾患 （高血圧性除く） 44 (117.9)	心疾患 （高血圧性除く） 73 (104.0)
４位	脳血管疾患 51,645 (84.8)	脳血管疾患 2,450 (74.6)	肺　　炎 49 (45.6)	肺　　炎 21 (56.3)	肺　　炎 28 (39.9)
５位	肺　　炎 33,647 (51.7)	肺　　炎 1,992 (60.6)	脳血管疾患 44 (40.9)	脳血管疾患 20 (53.6)	脳血管疾患 24 (34.2)

第９表　合計特殊出生率の年次推移

年次	全　　国	埼　玉　県	管　　内	蕨　　市	戸　田　市
H30	1.42	1.34	1.17	0.92	1.30
R1	1.36	1.27	1.13	0.92	1.24
R2	1.33	1.27	1.32	1.18	1.39
R3	1.30	1.22	1.00	0.75	1.13
R4	1.26	1.17	0.99	0.84	1.06
R5	1.20	1.14	0.95	0.78	1.04
R6	1.15	1.09	0.90	0.71	1.00

注：１　合計特殊出生率とは、１５歳から４９歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、１人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

なお、この表の数値は５歳階級の人口を用いて算出している。

２　率の算出に用いた人口

「各年１月１日現在埼玉県町（丁）字別人口」（埼玉県総務部統計課）

国勢調査年（平成２７年及び令和２年）は「国勢調査人口（日本人人口）」（総務省統計局）

３　国勢調査年は「日本人人口」で算出するため、総人口で算出されるその他の年に比べ、率が高くなる傾向にある。

第１０表　管内人口の年次推移

年次	管内合計			蕨市			戸田市		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
Ｒ４	215,803	108,847	106,956	73,916	37,280	36,636	141,887	71,567	70,320
Ｒ５	216,345	108,967	107,378	74,112	37,374	36,738	142,233	71,593	70,640
Ｒ６	217,159	109,554	107,605	75,016	37,892	37,124	142,143	71,662	70,481
Ｒ７	214,674	107,159	107,515	75,510	38,193	37,317	139,164	68,966	70,198

注：各年１０月１日現在

第４部　関係団体等一覧

１　埼玉県南部地域医療構想調整会議委員名簿

（令和７年７月１日現在）

氏　名	所　属	氏　名	所　属
長江　厚	川口市医師会	齋藤　卓	医療法人刀水会齋藤記念病院
早舩　直彦	蕨戸田市医師会	田辺　知宏	医療法人社団協友会東川口病院
田村　尚之	川口歯科医師会	脇之薗　明子	全国健康保険協会埼玉支部
山岡　昌彦	蕨戸田歯科医師会	小貝　喜海雄	埼玉県後期高齢者医療広域連合
金子　裕子	川口薬剤師会	白石　恵子	鳩ヶ谷訪問看護ステーション
本吉　義博	蕨市地域薬剤師会	小澤　賢二	川口市保健部
染川　智行	戸田市薬剤師会	福田　望	蕨市健康福祉部
國本　聡	川口市立医療センター	櫻井　聡	戸田市健康福祉部
原澤　茂	埼玉県済生会川口総合病院	岡本　浩二	川口市保健所
佐藤　信也	医療法人社団東光会戸田中央総合病院	川南　勝彦	埼玉県南部保健所
髙橋　太郎	医療法人髙仁会		
長江　康	医療法人寿康会寿康会病院		
佐藤　雅彦	埼玉県済生会川口総合病院		
中島　昌人	医療法人財団啓明会中島病院		

２ 埼玉県南部地域保健医療協議会委員名簿

（令和７年７月１日現在）

氏　名	所　属	氏　名	所　属
長江　厚	川口市医師会	小澤　賢二	川口市保健部
早舩　直彦	蕨戸田市医師会	福田　望	蕨市健康福祉部
田村　尚之	川口歯科医師会	櫻井　聡	戸田市健康福祉部
山岡　昌彦	蕨戸田歯科医師会	岡本　浩二	川口市保健所
金子　裕子	川口薬剤師会	川南　勝彦	埼玉県南部保健所
本吉　義博	蕨市地域薬剤師会		
染川　智行	戸田市薬剤師会		
脇之薗　明子	全国健康保険協会埼玉支部		
小貝　喜海雄	埼玉県後期高齢者医療広域連合		
白石　恵子	鳩ヶ谷訪問看護ステーション		
植田　富美子	蕨市母子愛育会		
石原　真由美	川口市食生活改善推進員協議会		

３　埼玉県南部地域保健医療協議会　在宅医療部会委員名簿

（令和７年４月１日現在）

1	部会長	早舩　直彦	蕨戸田市医師会　会長
2	副部会長	長江　厚	川口市医師会　会長
3	委員	陽野　載紀	川口歯科医師会　理事
4	〃	山岡　昌彦	蕨戸田歯科医師会　会長
5	〃	浅見　まゆみ	川口薬剤師会　副会長
6	〃	渡邊　圭一	蕨市地域薬剤師会　理事
7	〃	野口　昌也	戸田市薬剤師会　副会長
8	〃	齋藤　卓	医療法人　刀水会　齋藤記念病院　理事長
9	〃	中島　昌人	医療法人財団　啓明会　中島病院　院長
10	〃	杉浦　敏之	医療法人社団　弘惠会　杉浦医院　理事長
11	〃	辻川　昭仁	医療法人社団　仁真会　辻川ホームクリニック　理事長
12	〃	白石　恵子	埼玉県訪問看護ステーション協会　会長
13	〃	矢島　とし子	川口市在宅医療サポートセンター　コーディネーター
14	〃	矢作　伸子	蕨戸田市在宅医療支援センター　コーディネーター
15	〃	磯部　光代	医療法人　あかつき会　はとがや病院　看護部長
16	〃	浅野　直美	蕨市介護保険事業者連絡会　会長
17	〃	金長　美奈子	戸田市立地域包括支援センター　担当課長
18	〃	都築　規明	川口市福祉部介護保険課　課長
19	〃	若松　良平	川口市福祉部長寿支援課　課長
20	〃	加藤　晶大	蕨市健康福祉部健康長寿課　課長
21	〃	林　英一	戸田市健康福祉部健康長寿課　課長
22	〃	岡本　浩二	川口市保健部理事　兼　川口市保健所所長
23	〃	川南 勝彦	埼玉県南部保健所　所長

４　埼玉県蕨・戸田地区救急医療対策協議会委員名簿

（令和７年４月１日現在）

職名	氏名	所属等	選任区分
会長	頼髙　英雄	蕨市 市長	市長
副会長	菅原　文仁	戸田市 市長	市長
委員	早舩　直彦	蕨戸田市医師会 会長	医師会役員
委員	山岡　昌彦	蕨戸田歯科医師会 会長	歯科医師会役員
委員	鷲見　禎仁	蕨市立病院 院長	病院群輪番制病院代表
委員	佐藤　信也	医療法人社団東光会 戸田中央総合病院 院長	病院群輪番制病院代表
委員	中島　昌人	医療法人財団啓明会 中島病院 院長	病院群輪番制病院代表
委員	公平　誠	医療法人慈公会 公平病院 院長	病院群輪番制病院代表
委員	直江　康孝	川口市立医療センター 救急救命センター長	救命救急センターの長
委員	野﨑　好伴	蕨市消防本部 消防長	消防長
委員	岡本　秀之	戸田市消防本部 消防長	消防長
委員	川南　勝彦	埼玉県南部保健所 所長	保健所長

５　埼玉県南部保健所感染症診査協議会委員名簿

（令和７年４月１日現在）

氏　　名	所　　属	氏　　名	所　　属
桐山　裕二	桐山クリニック	田中　義枝	とだ優和の杜
辻川　昭仁	辻川ホームクリニック	植竹　真弓	元保健所保健師
玉作　恵美	さざんか総合法律事務所		

６　南部保健医療圏地域災害保健医療調整会議委員名簿

（令和７年４月３１日現在）

	職名	氏名	所属団体	選任区分（推薦元）
1	災害医療コーディネーター	直江　康孝	川口市立医療センター　副院長 兼 長救急救命センター長 ＊地域災害医療コーディネーターを兼任	-
2	地域災害医療コーディネーター	立花　栄三	川口市立医療センター　院長	-
3		伊藤　隆介	川口市立医療センター　消化器外科部長 兼 外科部長	-
4		光岡　英之	埼玉県済生会川口総合病院　副院長 兼 脳神経外科主任部長	-
5		石戸　保典	埼玉県済生会川口総合病院　外科主任部長	-
6	委員	大川　敬一	川口市医師会 理事、元郷医院院長	一般社団法人 川口市医師会の代表
7	委員	早舩　直彦	蕨戸田市医師会 会長、はやふねクリニック 院長	一般社団法人 蕨戸田市医師会の代表
8	委員	原田　容治	蕨戸田市医師会 理事、戸田中央総合病院 特任顧問	一般社団法人 蕨戸田市医師会の代表
9	委員	田村　尚之	川口歯科医師会 会長、田村歯科医院 院長	一般社団法人 川口歯科医師会の代表
10	委員	山岡　昌彦	蕨戸田歯科医師会 会長、山岡歯科医院 院長	一般社団法人 蕨戸田歯科医師会の代表
11	委員	金子　裕子	川口薬剤師会 会長、株式会社 金子ファーマシー 代表取締役	一般社団法人 川口薬剤師会の代表
12	委員	本吉　義博	蕨地域薬剤師会 会長、株式会社 みどり薬局 代表取締役	蕨地域薬剤師会の代表
13	委員	野口　昌也	戸田市薬剤師会 副会長、株式会社 羊堂 ひつじ堂薬局 代表取締役	一般社団法人 戸田市薬剤師会の代表
14	委員	林　幸恵	埼玉県看護協会 南部支部 前支部長、戸田中央総合病院 課長	公益社団法人 埼玉県看護協会の代表
15	委員	杉浦　秀和	透析災害医療第１ブロック 代表、済生会 川口総合病院 腎臓内科部長	透析災害医療 地区ブロックの代表
16	委員	宮﨑　克美	川口市消防局救急課 次長 兼 救急課長	川口市消防局の代表
17	委員	鈴木　経一	蕨市消防本部 次長	蕨市消防本部の代表
18	委員	山岡　郁夫	戸田市消防本部 警防課長	戸田市消防本部の代表
19	委員	渡辺　健	埼玉県川口警察署 警備課長	埼玉県川口警察署の代表
20	委員	吉田　茂	埼玉県武南警察署 警備課長	埼玉県武南警察署の代表
21	委員	平山　茂	埼玉県蕨警察署 警部	埼玉県蕨警察署の代表
22	委員	鈴木　淳	川口市危機管理部危機管理課 課長	川口市危機管理担当部門の代表
23	委員	矢﨑　研次	川口市保健部保健総務課 課長	川口市保健衛生部門の代表
24	委員	加藤　宏之	蕨市市民生活部安全安心課 課長	蕨市危機管理担当部門の代表
25	委員	安治　直尚	蕨市健康福祉部保健センター 所長	蕨市保健衛生部門の代表
26	委員	雨宮　博子	戸田市危機管理防災課 課長	戸田市危機管理担当部門の代表
27	委員	西口　以佐子	戸田市立市民医療センター総務課 課長	戸田市保健衛生部門の代表
28	委員	飯野　由希子	埼玉県南部地域振興センター 所長 兼 地域防災幹	埼玉県地域振興センターの代表
29	副会長	岡本　浩二	川口市保健所 所長 兼 川口市保健部 理事	川口市保健所長
30	会長	川南　勝彦	埼玉県南部保健所 所長	埼玉県南部保健所長

７　南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制検討委員会名簿

（令和７年４月１日現在）

氏　　名	所　　属	氏　　名	所　　属
長江　厚	川口市医師会	佐藤　倫也	さとうレディースクリニック
栃木　武一	川口市立医療センター	鈴木亜弥子	川口市消防局
大山　昇一	埼玉県済生会川口総合病院	鈴木　経一	蕨市消防本部
千島　史尚	川口市立医療センター	山岡　郁夫	戸田市消防本部
箕面崎　至宏	川口市立医療センター	矢崎　研次	川口市保健部保健総務課
市川　知則	川口市立医療センター	田谷　信行	蕨市立病院
西岡　正人	川口市立医療センター	後藤　英明	戸田市立市民医療センター
直江　康孝	川口市立医療センター	高橋　泰洋	さいたま赤十字病院
網倉　貴之	埼玉県済生会川口総合病院	閑野　将行	埼玉県立小児医療センター
内藤　朋巳	埼玉県済生会川口総合病院	岡本　浩二	川口市保健所
松永　保	医療法人社団東光会戸田中央総合病院	川南　勝彦	埼玉県南部保健所
黒牧　謙一	蕨市立病院		
佐野　養	医療法人社団東光会戸田中央産院		
山森　裕之	医療法人社団キュレスト山森小児科		

８　南部保健医療圏難病対策地域協議会委員名簿

（令和７年１１月１日現在）

氏　　名	所　　属	氏　　名	所　　属
小俣　香	川口市医師会	海老原　舞	戸田市立地域包括支援センター
梅田　浩	蕨戸田市医師会	若松　良平	川口市福祉部長寿支援課
塩田　宏嗣	川口市立医療センター	都築　規明	川口市福祉部介護保険課
陽野　載紀	川口歯科医師会	平井　典子	蕨市健康福祉部健康長寿課
白根　雅之	蕨戸田歯科医師会	小久保　司	戸田市健康福祉部健康長寿課
浅見　まゆみ	川口薬剤師会	蛯名　紀彦	川口市福祉部障害福祉課
桑沢　進一朗	蕨市地域薬剤師会	岡本　香南子	蕨市健康福祉部福祉総務課
野口　昌也	戸田市薬剤師会	金田　祐司郎	戸田市健康福祉部障害福祉課
白石　恵子	埼玉県訪問看護ステーション協会	堀江　宏	川口市保健所健康増進課
石﨑　真由美	地域連携看護師会	細野　亜紀子	蕨市健康福祉部保健センター
黒木　明美	―	林　美知絵	戸田市こども健やか部
矢島　とし子	川口市在宅医療サポートセンター		親子健やか室
矢作　伸子	蕨戸田市在宅医療支援センター	岡本　浩二	川口市保健所
岩渕　健一	川口市地域包括支援センター	川南　勝彦	埼玉県南部保健所
物井　貴浩	蕨市地域包括支援センター		

９　管内関係団体

（令和７年４月１日現在）

名　　称	所　　在　　地	電　　話
川口市医師会	川口市本町４－１－８ 川口センタービル４Ｆ	０４８－２２７－５８１１
蕨戸田市医師会	戸田市新曽１２９５－３	０４８－４４５－１１３１
川口歯科医師会	川口市上青木３－１２－６３ ＳＫＩＰシティ・彩の国ビジュアルプラザ棟４Ｆ	０４８－４８７－８０６５
蕨戸田歯科医師会	蕨市中央７－１７－２１ 山岡歯科医院	０４８－４４１－２５４４
蕨・戸田地区保健医療協議会	戸田市上戸田５－６ 戸田市福祉保健センター内	０４８－４４６－６２８４
埼玉県獣医師会戸田・蕨分会	戸田市笹目４－１９－１６　藤井 方	０４８－４２１－８０３０
川口薬剤師会	川口市幸町１－１－１７ フクロク・ハイ・マンション１号館２０６号室	０４８－２９９－５７３５
蕨市地域薬剤師会	蕨市中央３－１６－１３ みどり薬局内	０４８－４３１－２７６６
戸田市薬剤師会	戸田市新曽南２－４－８ あおば薬局戸田公園店内	０４８－４３４－２２１５
川口地区助産師会	川口市坂下町４－１８－３ はとがや助産所	０４８－２８４－６３６２
川口食品衛生協会	川口市前川１－１１－１ 川口市保健所内	０４８－２６２－９２９２
戸田・蕨食品衛生協会	川口市前川１－１１－１ 埼玉県南部保健所内	０４８－２６２－８３６４
埼玉県南部保健所管内 環境衛生協会	戸田市中町１－２０－１５ 長岡 方	０４８－４４３－４００２
南部保健所管内 戸田・蕨狂犬病予防協会	戸田市上戸田１－１８－１ 戸田市役所環境経済部環境課内	０４８－４４１－１８００
埼玉県南部保健所管内 薬物乱用防止指導員協議会	川口市前川１－１１－１ 埼玉県南部保健所内	０４８－２６２－６１１１
蕨市献血推進連絡協議会	蕨市北町２－１２－１５ 蕨市保健センター内	０４８－４３１－５５９０
蕨市母子愛育会	蕨市北町２－１２－１５ 蕨市保健センター内	０４８－４３１－５５９０
蕨市食生活改善推進員会	蕨市北町２－１２－１５ 蕨市保健センター内	０４８－４３１－５５９０
川口・戸田・蕨給食研究会	戸田市本町１－１９－３ 戸田中央総合病院内	０４８－４４２－１１１１